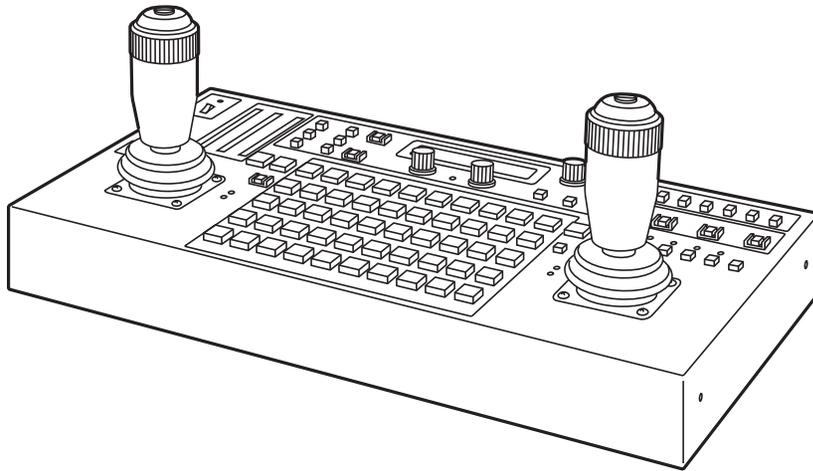


Panasonic[®]

取扱説明書

マルチファンクションコントローラー

品番 **AW-RP655N**



保証書別添付

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

目次

概要	2	回転台の可動範囲 (リミッター) の設定	24
付属品	2	ゲンロック調整	25
安全上のご注意	3	トータルペDESTALの調整	28
各部の名称と働き	8	ホワイトバランスの調整	29
コントロールパネル部	8	ブラックバランスの調整	30
背面コネクター部	15	トレーシングメモリーの設定	31
接続	18	プリセットメモリーの設定	35
操作手順	22	設定メニュー	37
電源の投入	22	ラックマウント金具の取り付け	44
カメラモデルの設定	22	消耗品の交換	44
PAN/TILT最低起動速度の調整	23	外形寸法図	45
バックラッシュ補正の調整	23	定格	46
レンズのズーム最低起動速度の調整	24	保証とアフターサービス	47

概要

- 本機は、回転台システム (回転台とコンバーチブルカメラまたはマルチパーパスカメラAK-HC1500G) を制御するマルチファンクションコントローラーです。
- AK-HC1500Gでは制御できる項目に制限があります。詳しくはAK-HC1500Gの取扱説明書を参照してください。
- 本機1台に対して2台まで本機を接続し、3カ所から回転台システムを制御することができます。接続には、10BASE-Tストレートケーブル (UTPカテゴリ 5) を使用してください。
- 4-pin XLRタイプのインカム (Inter Communication) 用のヘッドセットが接続でき、本機間および外部システム間との交信を行うことができます。
- 本機には、回転台システムが5台まで接続できます。回転台としてAW-PH360、AW-PH350、AW-PH650を使用する場合、本機と回転台システムとの接続は、最大1000 mまで延長できます。他の回転台を使用する場合は、800 mまで延長できます。
- 回転台とコンバーチブルカメラのシステムからの映像信号のケーブル補償には、ケーブル補償器AW-RC400をご使用ください。

対応回転台 AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH350、AW-PH360、AW-PH500、AW-PH600、AW-PH650
※AW-PH500を使用したときは、カメラを制御することができません。

推奨電源 電源には、専用のACアダプター AW-PS505A (別売品) を使用してください。

- ご注意**
- 本機は背面にあるIDスイッチ (P.17参照) の設定により動作モードを切り換えて使用することができます。
 - ・メインモード：本機の全ての機能が使用できます。
 - ・パネルモード：メインモードで動作するAW-RP655に対する増設コントロールパネルとして動作します。外部機器との接続として、インカムヘッドセット用INCOMコネクターとTO CONTROL PANEL IN/OUT端子のみ使用することができます。
- 本書では、パネルモードに設定されたAW-RP655のことを「コントロールパネル」と表現しています。
- 本機は、電源投入時およびOPERATE ON時に操作レバー (ZOOMレバー、PAN/TILTレバー、FOCUS/IRISダイヤル) の基準位置の設定を行います。基準位置設定中は、操作レバーに触らないようにしてください。
 - 本機のご使用を終え廃棄されるときは、環境保全のため、専門の業者へ廃棄を依頼してください。

付属品

ラックアングル (5U)	2
取り付けネジ (M4×8)	4

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●設置について

警告

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

ケーブルに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
ケーブルが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

水場に設置しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

●設置について

警告

ぬれた手で、ケーブルの
抜き差しはしない！



感電の原因となり
ます。

禁止

付属品・オプションは、
指定の製品を使用する！



本体に誤って指定
外の製品を使用す
ると、火災や事故
を起こすおそれが
あります。

●使用方法について

警告

水場で使用しない！



火災・感電の
原因となりま
す。

水場使用禁止

本機の上に水の入った容
器、小さな金属物を置か
ない！



本機内部にはいる
と、故障や事故を
起こすおそれがあ
ります。

禁止

■コードが破損するよう
なことはしない！

傷つけたり、加工したり、
高温部に近づけたり、無
理に曲げたり、ねじった
り、引っ張ったり、重い
ものを載せたり、束ねた
りしない！



傷んだまま使用す
ると、感電・ショ
ート・火災の原因
になります。

禁止

●コードやプラグの修理は、
お買い上げの販売店に、
ご相談ください。

機器が濡れたり、水が
入らないようにする！



火災・感電のおそ
れがあります。
雨天・降雪・海
岸・水辺での使用
は、特にご注意く
ださい。

禁止

機器の開口部から異物を
差し込んだり、落とし込
んだりしない！



火災・感電のおそ
れがあります。

禁止

本機を改造しない！



火災・感電の原
因となります。

分解禁止

本機の裏ぶた・キャビネ
ット・カバーなどを外さ
ない！



感電の原因とな
ります。

分解禁止

●点検・整備・修理は、お買
い上げの販売店に、ご依頼
ください。

指定のカバー以外は、
外さない！



感電の原因とな
ります。

分解禁止

●点検・整備・修理は、お買
い上げの販売店に、ご依頼
ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

●異常時の処理について

警告

本機を落としたり、破損した場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に異物が入った場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

本機の内部に水などが入った場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを抜く

火災・感電の原因となります。

●お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

ケーブルが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

●お買い上げの販売店に、ご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

●設置について

⚠ 注意

ケーブルを熱器具に近づけない！



禁止

ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

油煙や湯気が当たる場所に置かない！



禁止

火災・感電の原因となります。

本機を通気の悪い所で使用しない！



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方は、しないでください。

湿気やほこりの多い場所に置かない！



禁止

火災・感電の原因となります。

プラグを抜くときは、コードを引っ張らない！



禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

- 必ずプラグを持って抜いてください。

- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

ぬれた手でコネクターを抜き差ししない！



禁止

感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

●使用方法について

⚠ 注意

本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。

本機に乗らない！



禁止

倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。

移動させる場合は、外部の接続ケーブルを外す！



禁止

ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れについて

⚠ 注意

お手入れの際は安全のため、ケーブルをはずす！



火災・感電の原因となる場合があります。

台所用洗剤を布にしみこませて軽くふいてください。
ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたりしないでください。

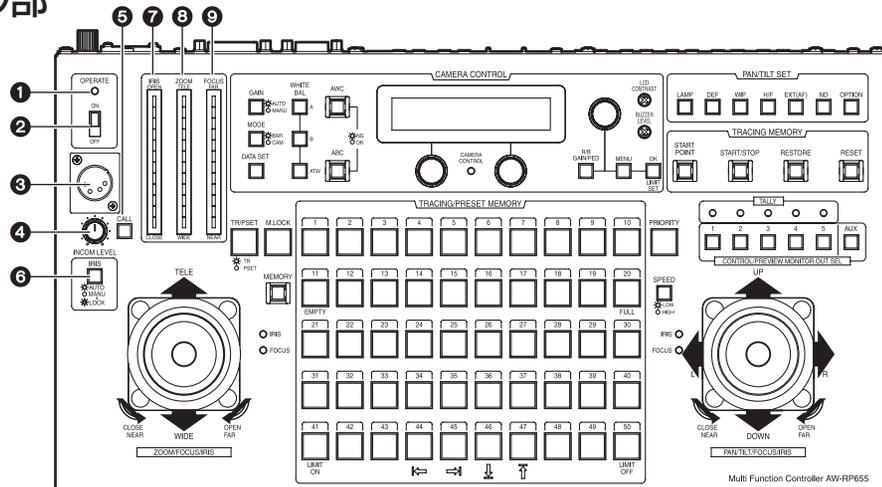
1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となる場合があります。

各部の名称と働き

■コントロールパネル部



① OPERATEランプ

本機に電源が供給されて、OPERATEスイッチがONの状態のときに点灯します。

② OPERATEスイッチ

本機に接続されている全ての回転台システム（回転台とコンバーチブルカメラ）の電源を制御します。ON/OFFの操作は5秒以上の間隔をあけて行ってください。OPERATEスイッチをOFFにしても本機の電源はOFFになりません。本機を完全にOFFにする場合は、ACアダプターの電源をOFFにしてください。

③ INCOMコネクター

インカム (Inter Communication) 用のヘッドセットを接続します。



上から見た
INCOMコネクター

ピン番号	信号名
1	MIC GND
2	MIC
3	RECEIVER GND
4	RECEIVER

MICインピーダンス：200Ω

RECEIVERインピーダンス：600Ω

<推奨品> 松田通商 CC-26K
アシダ音響 HRM-201D

④ LEVELつまみ

ヘッドセットのレシーバー側の音量を調節します。

⑤ CALLボタン

CALLボタンを押すと、接続されている他のコントロールパネルのブザーが鳴り、CALLボタンが点灯します。

⑥ IRIS [AUTO/MANU/LOCK] ボタン

現在選択されている回転台システムの、レンズアイリスの調整方法を選択します。ボタンを押すごとに、AUTO/MANU/LOCKが切り換わります。

AUTO：自動調整を行い、IRISボタンが点灯します。AUTOを選択しているときに、IRIS調整用のFOCUS/IRISダイヤルを回すと、IRISボタンが点滅して警告します。

MANU：FOCUS/IRISダイヤルでマニュアル調整します。

このときIRISボタンは消灯します。

LOCK：マニュアル調整を行ったレンズアイリスのポジションに固定され、IRISボタンが点滅します。IRIS調整用のFOCUS/IRISダイヤルを回しても、レンズアイリスのポジションは変化しません。

TRACING/PRESET MEMORYボタンにレンズアイリスのポジションを登録するときは、MANUの位置にしてください。

ご注意

カメラの電源を本機より後に投入した場合や、停電やトラブルでカメラの電源が落ちた場合、LCDパネルに「NO CONNECT」が表示される前に電源が復旧することがあります。その場合、IRISボタンの設定にかかわらずカメラは[AUTO]の状態で作動しますので、再度IRISボタンで調整方法を選択してください。

⑦ IRISインジケータ

現在選択されている回転台システムの、レンズアイリスのポジションを12段階 (CLOSE ▶ OPEN) で表示します。

⑧ ZOOMインジケータ

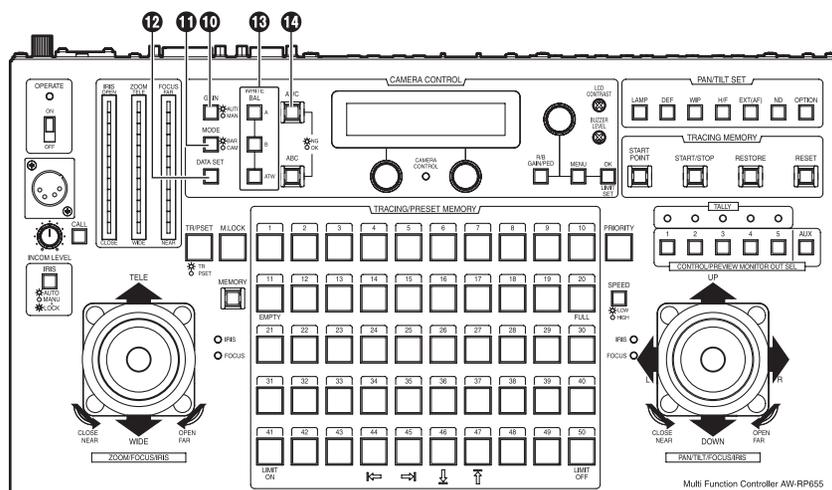
現在選択されている回転台システムの、レンズズームのポジションを12段階 (WIDE ▶ TELE) で表示します。

⑨ FOCUSインジケータ

現在選択されている回転台システムの、レンズフォーカスのポジションを12段階 (NEAR ▶ FAR) で表示します。

IRIS、ZOOM、FOCUSの各インジケータ表示は、使用する回転台やカメラにより表示しない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

各部の名称と働き



⑩ GAIN [AUTO/MANU] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのゲインコントロールモードを選択します。

ボタンを押すごとに、AUTOモードとMANUALモードが切り換わります。

AUTOモードのときはボタンが点灯し、MANUALモードのときには消灯します。

AUTOモードのときにR/B GAIN/PEDボタンを押してGAINの調整を行う場合、最大ゲインを設定することができます。

MANUALモードのときにR/B GAIN/PEDボタンを押してGAINの調整を行う場合は、ゲインを0dBからナイトアイモードまで設定することができます。

⑪ MODE [BAR/CAM] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラの映像出力信号を選択します。

ボタンを押すごとに、カメラのカラーバー信号と映像信号が切り換わります。

カラーバー信号のときはボタンが点灯し、映像信号のときには消灯します。

⑫ DATA SETボタン

本機のOPERATEスイッチをONにした後に、回転台システムに電源を入れたときや回転台システムを接続したときなど、本機が回転台システムを認識していないときに、その回転台システムを選択してDATA SETボタンを押します。ボタンは2秒以上押ししてください。選択された回転台システムの電源が入り、カメラの初期設定を開始します。

DATA SETボタンは、誤操作防止のため、2秒以上押し続けたときにはじめて動作します。

⑬ WHITE BAL [A/B/ATW] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのホワイトバランスの調整を選択します。

A : Aボタンを押すと、カメラのメモリー Aに登録されているホワイトバランスの状態になり、Aボタンが点灯します。

Aボタンを押した後にAWCボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Aに登録します。

B : Bボタンを押すと、カメラのメモリー Bに登録されているホワイトバランスの状態になり、Bボタンが点灯します。

Bボタンを押した後にAWCボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Bに登録します。

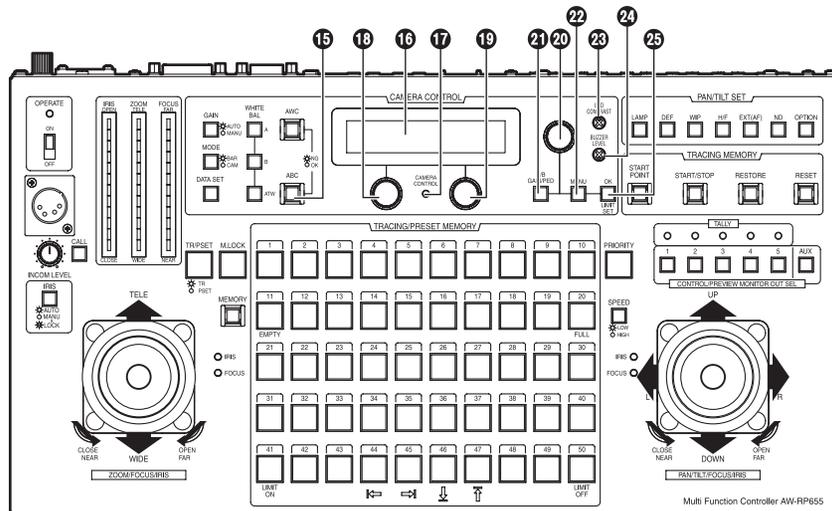
ATW : ATWボタンを押すと、ホワイトバランスは自動調整モードになり、ATWボタンが点灯します。

⑭ AWCボタン

WHITE BAL [A] ボタンや [B] ボタンが選択されているときにこのボタンを押し、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー Aやメモリー Bに登録します。ホワイトバランスの調整中はAWCボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかったときには点灯します。

- MODEボタンがBAR (MODEボタンが点灯) のときやATWが選択されているときは、動作しません。
- ホワイトバランスを調整するときは、撮影している画面に白い対象物が無いと調整できないときがあります。
- 回転台にAW-PH300/AW-PH300A/AW-PH500/AW-PH600を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

各部の名称と働き



15 ABCボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのブラックバランスを自動調整します。
IRIS [AUTO/MANU/LOCK] ボタンをAUTO (IRISボタンが点灯) にしてABCボタンを押します。
ブラックバランスの調整中はABCボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかったときには点灯します。

回転台にAW-PH300/AW-PH300A/AW-PH500/AW-PH600を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

16 LCDパネル

現在の設定状態を表示します。

17 CAMERA CONTROLランプ

現在選択されている回転台システムの、カメラとの通信が正常に行われているときに点灯します。通信に異常があると消灯します。

回転台にAW-PH300/AW-PH300A/AW-PH500/AW-PH600を使用しているときは、通信が正常に行われているときも消灯したままです。

18 ジョグダイヤル (L)

設定メニューモードのときに、LCDパネルの下段左側に表示されている項目の値を変更します。

19 ジョグダイヤル (R)

設定メニューモードのときに、LCDパネルの下段右側に表示されている項目の値を変更します。

20 ジョグダイヤル (メイン)

設定メニューモードのときに、LCDパネルの上段に表示されている項目の選択や、値の変更を行います。

21 R/B GAIN/PEDボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのR/BゲインやR/Bペダスタルを調整するときはこのボタンを押します。
ボタンを押すごとに、調整モードのON/OFFが切り換わります。
調整モードがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

22 MENUボタン

現在選択されている回転台システムの、設定メニューモードのON/OFFを選択します。
ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。
設定メニューモードがONのときは、ボタンが点灯してLCDパネルに設定メニューが表示されます。このとき、設定メニューの項目を選択する場合にも、MENUボタンで項目を選択します。
設定メニューモードがOFFのときには、ボタンが消灯してLCDパネルの表示が元に戻ります。

23 LCD CONTRASTコントロール

LCDパネルのコントラストを調整します。

24 BUZZER LEVELコントロール

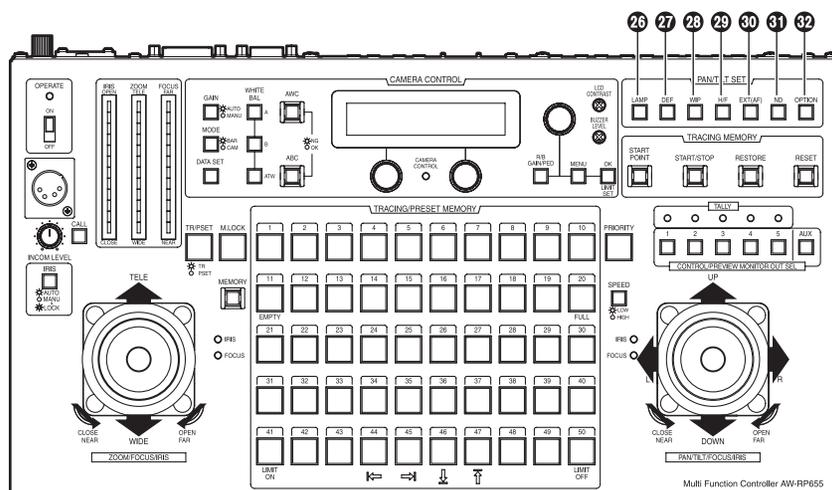
CALLボタンを押したときに鳴るBUZZERの音量を調節します。

25 OKボタン

設定メニュー項目の選択を行うときや、項目の値を確定するときには押します。

設定メニューの項目には、ジョグダイヤル18・19・20を押すごとに、設定値が変化する速度を切り換えることができる項目があります。(P.37 ~ 40参照)

各部の名称と働き



26 LAMPボタン

現在選択されている回転台システムに接続されている、ハロゲンランプの点灯と消灯を制御します。ボタンを押すごとに、点灯と消灯が切り換わります。ハロゲンランプが点灯しているときはボタンが点灯し、消灯しているときにはボタンが消灯します。ハロゲンランプが接続されていないときや断線などのトラブルがあるときには、ボタンが点滅します。

27 DEFボタン

現在選択されている回転台システムにデフロスタ機能がある回転台 (AW-PH600/AW-PH650) を使用している場合、デフロスタ機能のON/OFFを選択します。ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。デフロスタがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

28 WIPボタン

現在選択されている回転台システムにワイパー機能がある回転台 (AW-PH600/AW-PH650) を使用している場合、ワイパー機能のON/OFFを選択します。ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ワイパーがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

29 H/Fボタン

現在選択されている回転台システムにヒーター／ファン機能がある回転台 (AW-PH600/AW-PH650) を使用している場合、ヒーター／ファン機能のON/OFFを選択します。ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。ヒーター／ファンがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。

30 EXT (AF) ボタン

選択されている回転台システムにエクステンダー機能があるレンズを使用している場合、ボタンを押すごとにエクステンダー機能のON/OFFが切り換わります。選択されている回転台システムにAF機能付きレンズ (AW-LZ16AF7G) を使用している場合、ボタンを押すごとにレンズのAF機能がON/OFFと切り換わります。どちらの場合もONの時はボタンが点灯し、OFFの時は消灯します。

※AF機能は、回転台AW-PH350/AW-PH360/AW-PH650を接続した場合のみ、このボタンでON/OFFできます。回転台を使用せずカメラのみを接続の場合はメニュー上でON/OFFしてください。

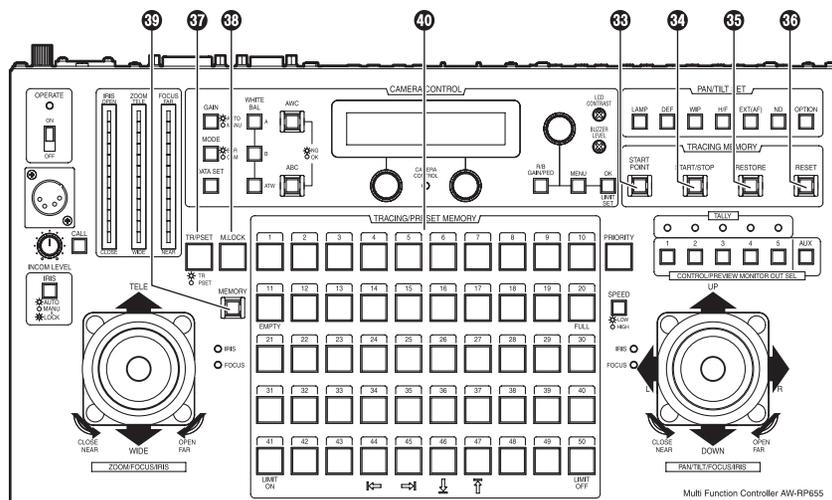
31 NDボタン

現在選択されている回転台システムにNDフィルター機能があるレンズを使用している場合、NDフィルター機能のON/OFFを選択します。ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り換わります。NDフィルターがONのときはボタンが点灯し、OFFのときには消灯します。AW-E655のNDフィルターの切り換えはできません。カメラ設定メニューで行ってください。

32 OPTIONボタン

現在選択されている回転台システムに接続されている、ACアダプター (AW-PS300A) のOPTION SW CONTROL OUT端子の短絡／解放を制御します。ボタンを押すごとに、短絡と解放が切り換わります。短絡したときはボタンが点灯し、解放したときにはボタンが消灯します。

各部の名称と働き



33 START POINTボタン

トレーシングメモリーを開始する位置を設定するときに押します。

34 START/STOPボタン

トレーシングメモリーの登録を開始するときと停止するときを押します。

35 RESTOREボタン

登録されているトレーシングメモリーを修正するときに押します。

36 RESETボタン

登録されているトレーシングメモリーを消去するときに押します。

37 TR/PSETボタン

トレーシングメモリーモードとプリセットメモリーモードを選択します。

ボタンを押すごとに、トレーシングメモリーモードとプリセットメモリーモードが切り換わります。

トレーシングメモリーモードのときはボタンが点灯し、プリセットメモリーモードのときには消灯します。

38 M. LOCKボタン

トレーシングメモリーやプリセットメモリーの記録禁止と許可を選択します。

ボタンを押すごとに、記録禁止と許可が切り換わります。

記録が禁止されているときはボタンが点灯し、許可されているときには消灯します。

39 MEMORYボタン

現在選択されている回転台システムとの通信ができているときは消灯し、通信に失敗したときは点滅します。点滅したときは、他の回転台システムを一度選択してから再度選択し直してください。それでも点滅する場合は、回転台の電源やケーブルの接続をご確認ください。また、回転台システムの設定内容を、プリセットメモリーとしてTRACING/PRESET MEMORYボタン [1] ~ [50] に登録するときに押します。プリセットメモリーは、回転台システム1系統に最大50種類の設定を登録できます。

回転台システムの設定内容：

回転台：

パン/チルト位置

カメラ：

ズーム、フォーカス、絞り、ホワイトバランス

プリセットメモリーへの登録方法：

- ① CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで、回転台システムを選択します。
- ② TR/PSETボタンでプリセットメモリーモードを選択します。
- ③ 回転台システムを設定します。
- ④ MEMORYボタンを押しながら、登録するTRACING/PRESET MEMORYボタン [1] ~ [50] を押します。

40 TRACING/PRESET MEMORYボタン [1] ~ [50]

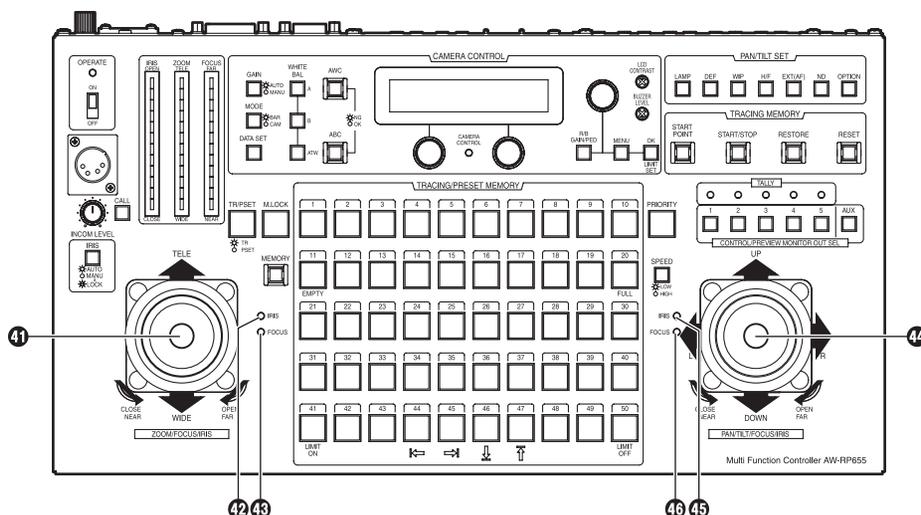
トレーシングメモリーやプリセットメモリーをボタンに登録します。

トレーシングメモリー：[1] ~ [10]

プリセットメモリー：[1] ~ [50]

トレーシングメモリーが既に登録されているボタンには、プリセットメモリーを登録することができません。

各部の名称と働き



41 ZOOMレバー、FOCUS/IRISダイヤル

現在選択されている回転台システムの、レンズのズームを調整します。

倒す方向によりTELE（望遠）とWIDE（広角）を決め、倒す角度によりズームスピードを調整します。

また、レバーの上部にあるダイヤルでレンズフォーカスとレンズアイリスを調整します。

ダイヤルは、レバーの天面にあるボタンでフォーカス調整ダイヤルと絞り調整ダイヤルに切り換えます。

フォーカス調整ダイヤルに切り換えたときは、レバーの右側にあるFOCUSランプが点灯し、絞り調整ダイヤルに切り換えたときにはIRISランプが点灯します。

ZOOMレバーのダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するとき、対面しているPAN/TILTレバーのダイヤルは、フォーカス調整ダイヤルとして動作し、PAN/TILTレバーの左側にあるFOCUSランプが点灯します。

同様に、ZOOMレバーのダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するとき、対面しているPAN/TILTレバーのダイヤルは、絞り調整ダイヤルとして動作し、PAN/TILTレバーの左側にあるIRISランプが点灯します。

42 IRISランプ

ZOOMレバーの上部にあるダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

43 FOCUSランプ

ZOOMレバーの上部にあるダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

44 PAN/TILTレバー、FOCUS/IRISダイヤル

現在選択されている回転台システムの、回転台の向きを調整します。

L/R方向に倒すと回転台の向きが左右方向に変わり、UP/DOWN方向に倒すと上下方向に変わります。

レバーを倒す角度によりスピードを調整します。

また、レバーの上部にあるダイヤルでレンズフォーカスとレンズアイリスを調整します。

ダイヤルは、レバーの天面にあるボタンでフォーカス調整ダイヤルと絞り調整ダイヤルに切り換えます。

フォーカス調整ダイヤルに切り換えたときは、レバーの左側にあるFOCUSランプが点灯し、絞り調整ダイヤルに切り換えたときにはIRISランプが点灯します。

PAN/TILTレバーのダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するとき、対面しているZOOMレバーのダイヤルは、フォーカス調整ダイヤルとして動作し、ZOOMレバーの右側にあるFOCUSランプが点灯します。

同様に、PAN/TILTレバーのダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するとき、対面しているZOOMレバーのダイヤルは、絞り調整ダイヤルとして動作し、ZOOMレバーの右側にあるIRISランプが点灯します。

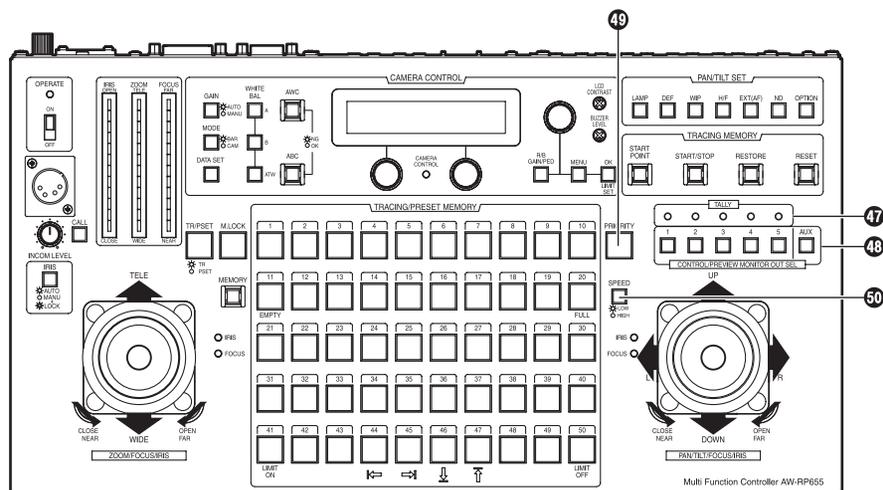
45 IRISランプ

PAN/TILTレバーの上部にあるダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

46 FOCUSランプ

PAN/TILTレバーの上部にあるダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

各部の名称と働き



47 TALLYランプ [1] ~ [5]

TALLY端子 [1] ~ [5] にタリ-信号が入力されたときに、端子に対応した番号のランプが点灯します。

48 CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタン [1] ~ [5], [AUX]

1から5のボタンを押すと、接続されている回転台システムを選択します。

AW-RC400と接続されている場合は、選択された番号のボタンが点灯し、選択された回転台システムからの映像信号がAW-RC400のMONITOR OUT 1 ~ 2端子に出力されます。

AW-RC400とのシステムの場合、AUXスイッチは機能しません。

49 PRIORITYボタン

本機に複数のコントロールパネルが接続されているときには、このボタンを押して回転台システムを制御します。

制御モードのときはボタンが点灯し、非制御モードのときには消灯します。

本機に1台もコントロールパネルが接続されていないときには、このボタンが常に点灯しています。

50 SPEEDボタン

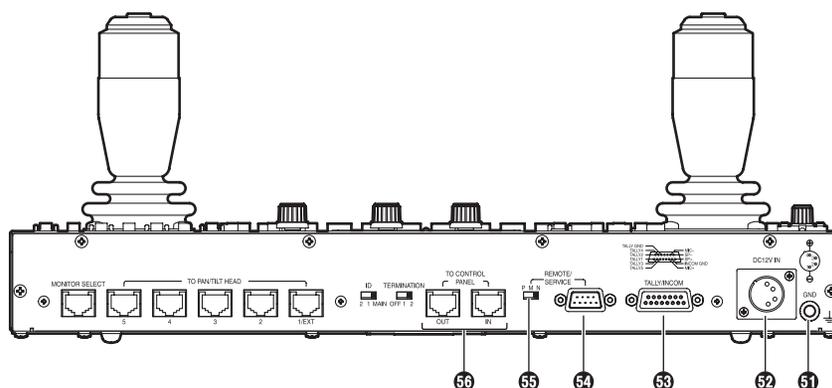
現在選択されている回転台システムの、制御（パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス）速度を選択します。ボタンを押すごとに、高速モードと低速モードが切り換わります。

低速モードのときはボタンが点灯し、高速モードのときには消灯します。

設定メニューのSPEED SELECT項目では、高速モードと低速モードのそれぞれに3段階の速度を設定できます。

各部の名称と働き

■背面コネクタ一部



51 GND端子

アース接地してご使用ください。

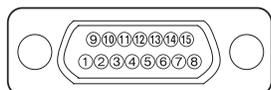
52 DC 12 V IN端子

ACアダプター AW-PS505A (別売品) を接続します。

53 TALLY/INCOM端子

ビデオスイッチャーなどのTALLY/INCOM端子と接続します。

TALLY端子はGNDレベルになると、TALLYランプ(47)が点灯します。この端子には、5 V以上の電圧を与えないでください。



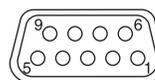
AW-RP655を背面から見たときのピン配置

ピン番号	信号名
1	TALLY1
9	TALLY2
2	TALLY3
10	TALLY4
3	TALLY5
11	TALLY GND
4	---
12	---
5	---
13	---
6	MIC+
14	MIC-
7	INCOM GND
15	SP-
8	SP+

INCOM端子には4線式のINCOMシステムを接続してください。

54 REMOTE/SERVICE端子

パーソナルコンピューターなど外部機器で回転台システムを制御するときに、外部機器を接続します。



ピン番号	信号名
1	---
2	RXD IN
3	TXD OUT
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	---

55 REMOTE/SERVICEスイッチ (出荷設定: N)

REMOTE/SERVICE端子の機能選択スイッチです。「N」の位置に固定でご使用ください。

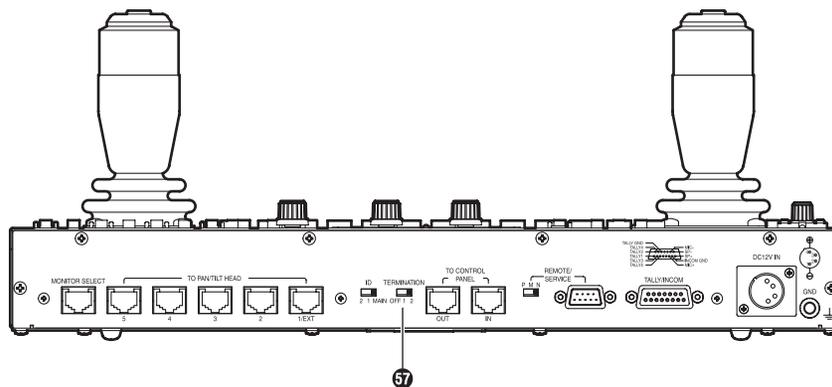
56 TO CONTROL PANEL IN端子 TO CONTROL PANEL OUT端子

PANEL MODEに設定したAW-RP655 (コントロールパネル) を接続します。

本機のIN端子とコントロールパネルのOUT端子または本機のOUT端子とコントロールパネルのIN端子を接続してください。

IN端子とOUT端子は、インカム通信のMICとSPの接続が逆になっています。IN端子どうし、OUT端子どうしを接続しないでください。

各部の名称と働き

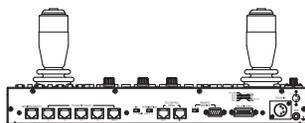


57 TERMINATIONスイッチ（出荷設定：2）

コントロールパネルと通信するコントロール信号の終端スイッチです。

TERMINATIONスイッチ (57) とIDスイッチ (56) の設定のしかた

(1) 本機にコントロールパネルが接続されていない場合は、このスイッチを「2」にしてください。



ID	TERMINATION
MAIN	2

(2) 本機にコントロールパネルが1台接続されている場合は、このスイッチを「1」、コントロールパネルのTERMINATIONスイッチを「1」にしてください。



ID	TERMINATION
MAIN	1



ID	TERMINATION
1, 2	1

(3) 本機にコントロールパネルが2台接続されている場合は、接続の両端にある機器のTERMINATIONスイッチを「1」に、接続の途中にある機器のTERMINATIONスイッチを「OFF」にしてください。



ID	TERMINATION
1	1



ID	TERMINATION
MAIN	OFF



ID	TERMINATION
2	1

または、



ID	TERMINATION
MAIN	1

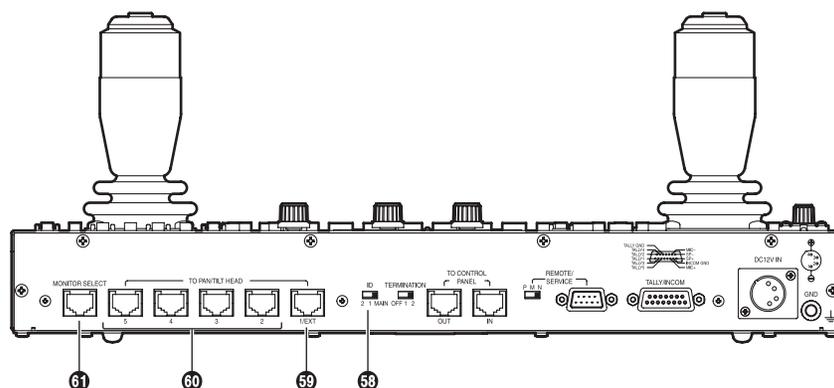


ID	TERMINATION
1	OFF



ID	TERMINATION
2	1

各部の名称と働き



58 IDスイッチ (出荷設定: MAIN)

本機の動作モードを設定するスイッチです。

メインモード:

本機の全ての機能が使用できます。

パネルモード:

メインモードで動作するAW-RP655に対する増設コントロールパネルとして動作します。外部機器との接続として、インカムヘッドセット用INCOMコネクターとTO CONTROL PANEL IN/OUT端子のみ使用することができます。

動作モードは、本機に電源を投入されたときに設定されます。動作モードの設定は、必ず本機に電源を供給するACアダプターの電源を切ってから行ってください。OPERATEスイッチでは本機の電源は切れませんのでご注意ください。

MAIN:

本機はメインモードで動作します。

1/2:

本機はパネルモードで動作します。コントロールパネルが2台接続されるシステムの場合は、2台のコントロールパネルの設定を異なる値にしてください。

59 TO PAN/TILT HEAD 1/EXT端子

- ・コントローラー設定メニュー (P.41 参照) でEXT CONTROL OUTをOFFに設定した場合は、回転台の接続端子1として機能します。回転台のIP/RP端子に10BASE-T (UTPカテゴリー5相当) のストレートケーブルで接続してください。最大1000 mまで延長できます。AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600と接続する場合は、RS-232C/RS-422変換器を使用して、回転台のRS-232Cコントロール接続端子に接続してください。
- ・コントローラー設定メニュー (P.41 参照) でEXT CONTROL OUTをONに設定した場合は、公衆回線接続BOX AW-DU600の接続端子として機能します。

AW-DU600のPAN/TILT CONTROL IN端子に10BASE-T (UTPカテゴリー5相当) のストレートケーブルで接続してください。最大1000 mまで延長できます。

詳細は公衆回線接続BOX AW-DU600の取扱説明書を参照してください。記述内容については、下記の通りに読み替えてください。

- ・AW-RP605 → AW-RP655
- ・EXTERNAL CONTROL OUT端子
→ TO PAN/TILT HEAD 1/EXT端子
- ・AW-DU600とのシステムにおいて、本機にはソフトウェアバージョンの制約はありません。

60 TO PAN/TILT HEAD 2 ~ 5端子

- ・コントローラー設定メニュー (P.41 参照) でEXT CONTROL OUTをOFFに設定した場合は、回転台の接続端子2 ~ 5として機能します。回転台のIP/RP端子に10BASE-T (UTPカテゴリー5相当) のストレートケーブルで接続してください。最大1000 mまで延長できます。AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600と接続する場合は、RS-232C/RS-422変換器を使用して、回転台のRS-232Cコントロール端子に接続してください。
- ・コントローラー設定メニュー (P.41 参照) でEXT CONTROL OUTをONに設定した場合は、使用できません。

61 MONITOR SELECT端子

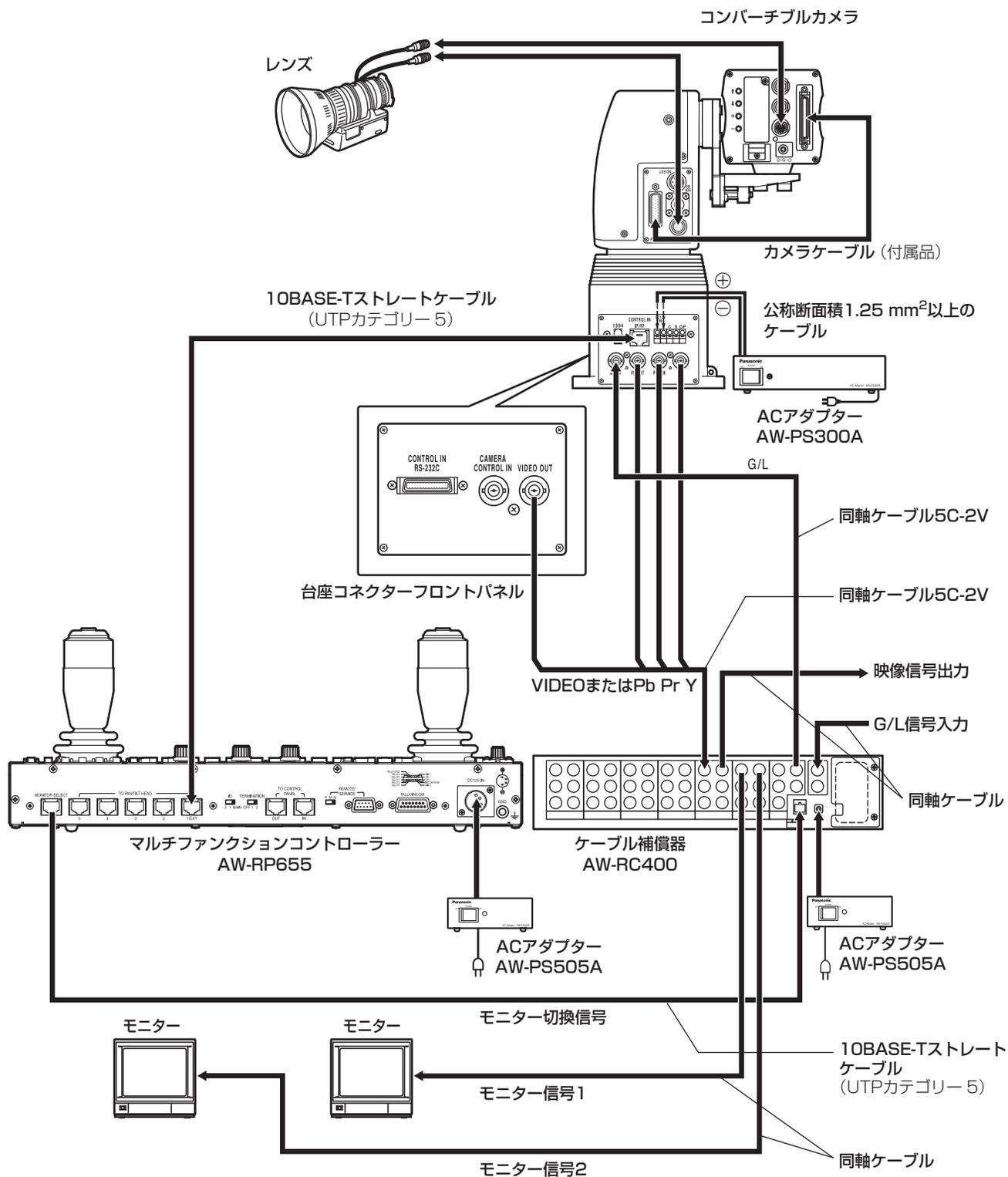
ケーブル補償器AW-RC400のMONI SEL IN端子に10BASE-T (UTPカテゴリー5相当) のストレートケーブルで接続してください。最大50 mまで延長できます。AW-RC400のMONITOR 1、2端子からは、本機で選択した番号の入力端子に接続された回転台システムの映像信号が出力されます。

接 続

接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。

- 本機のACアダプターにはAW-PS505A（別売品）を、回転台のACアダプターには、AW-PS300A（別売品）を使用してください。
- 回転台AW-PH360とACアダプター AW-PS300Aを、DC電源コード（公称断面積1.25 mm²以上の電気用品取締法に適合したケーブル）で接続します。
回転台と回転台用ACアダプターの最大延長距離は30 mです。
- 回転台AW-PH360とコンバーチブルカメラを、AW-PH360に付属のカメラケーブルで接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラに、リモート（ズーム／フォーカスコントロール）ケーブルを回転台に接続します。
- 回転台にAW-PH360を使用する場合、AW-PH360のコントローラー選択スイッチを「AW-RP605Aの場合」に設定してください。

各機器の詳しい接続方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。



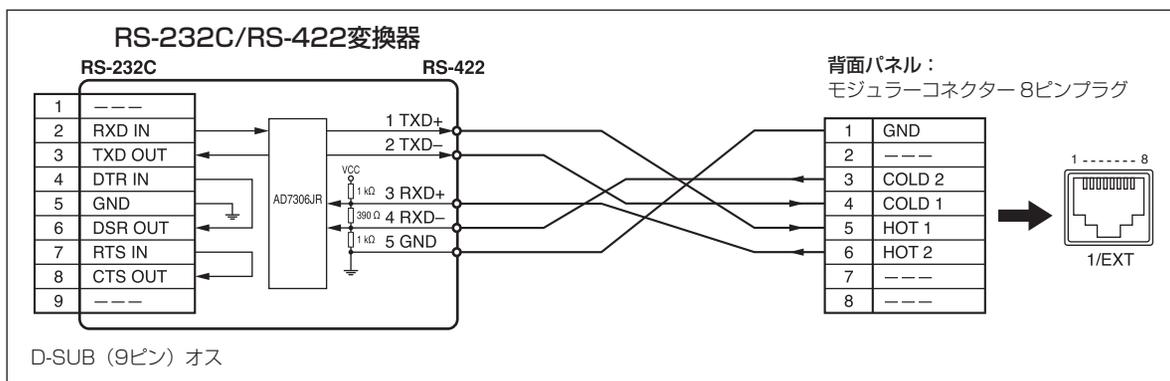
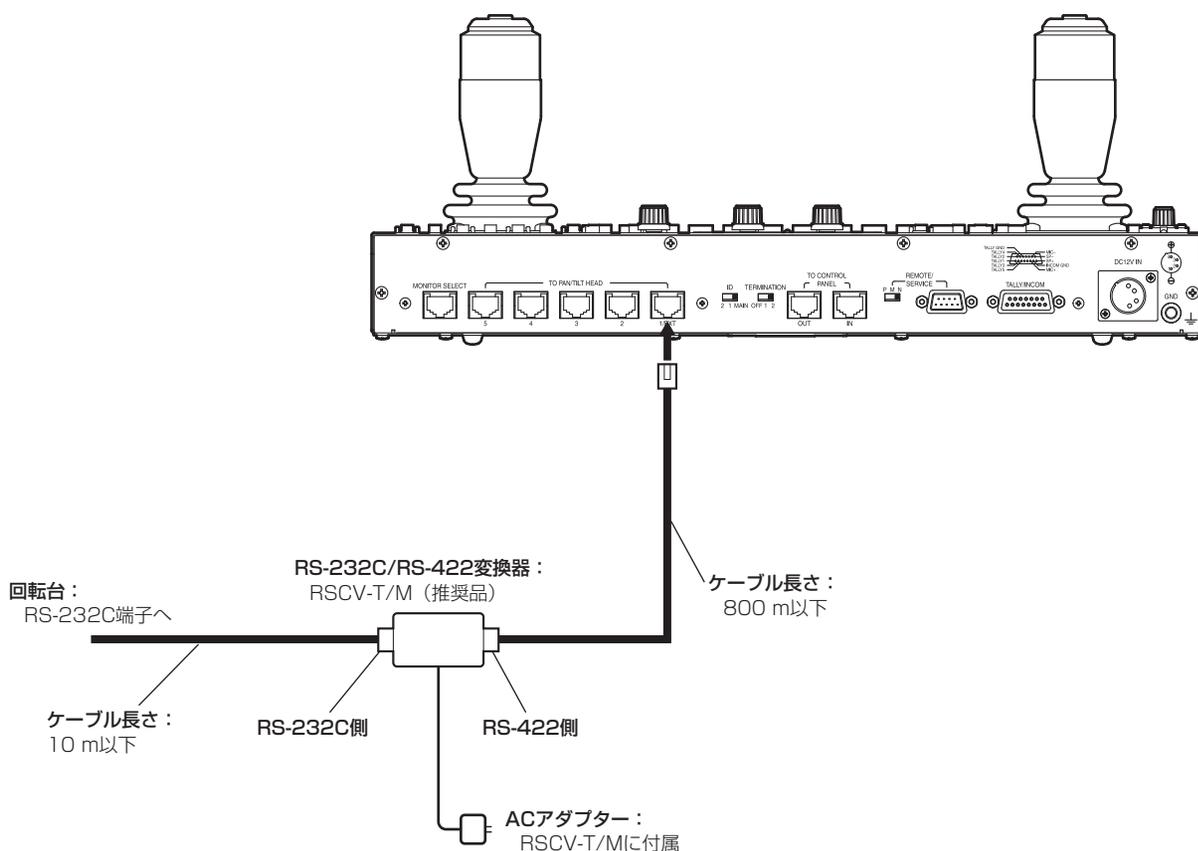
接 続

回転台としてAW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600を使用する場合

本機からのコントロール信号をRS-422からRS-232Cにレベル変換する必要があります。

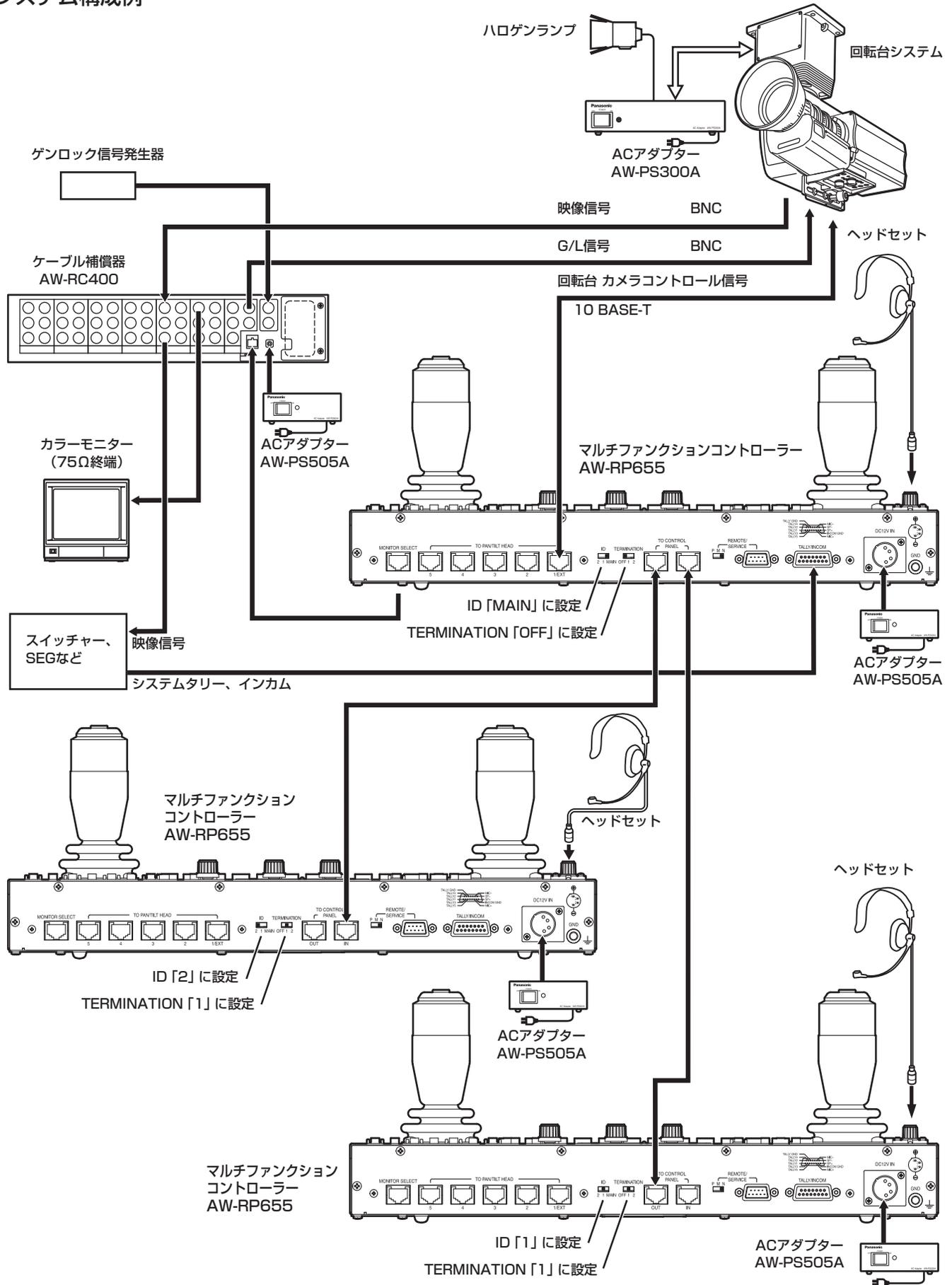
RS-232C/RS-422変換器と接続ケーブルにつきましては、販売店にご相談ください。

下記に、推奨品RSCV-T/M（データリンク株式会社製）を使用した場合の接続例を示します。



接 続

システム構成例



操作手順

■電源の投入

1. 接続している機器全ての電源スイッチと、ACアダプターの電源スイッチをONにします。
2. 本機のOPERATEスイッチをONにします。
本機に接続されている回転台システムの電源が入り、カメラの初期設定を順次行います。

- カメラの初期設定を行うと同時に、本機のPAN/TILTレバーとZOOMレバーの設定も行っています。LCDパネルが下記の表示のときは、レバーに触れないようにしてください。

*** INITIALIZE ***
PLEASE WAIT

- カメラの初期設定には、1台につき約30秒が必要です。カメラの初期設定が終わるまでは、回転台システムの制御ができません。
- 本機のOPERATEスイッチをONにする前に、必ず接続している機器全ての電源スイッチと、ACアダプターの電源スイッチをONにしてください。

回転台システムを接続し（または交換したとき）、初めて電源を投入したとき、接続されている各カメラの「INITIALIZE」が終了後、次の各項目の調整・設定を行います。各項目の調整・設定終了後、「回転台の可動範囲（リミッター）の設定」に進んでください。
一度調整すれば回転台またはカメラ、レンズを交換しない限り行う必要はありません。（再度、設定・調整する項目は交換する機材によって変わります。）

■カメラモデルの設定

回転台AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH600を使用する場合は必ず実施してください。

1. MENUボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルの上段にCONTROLLER SETTINGの項目を表示します。

CONTROLLER SETTING
→ OK Key

2. OKボタンを押します。LCDパネルに下記の項目が表示されます。

BUZZER SET
ON

3. ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルに下記の項目を表示します。

Camera Model Select
CAM1 No Camera

4. ジョグダイヤル（L）を回して接続されているカメラを選択し、ジョグダイヤル（R）を回して接続されているカメラモデルを選択します。
5. 接続されている全てのカメラモデル設定が完了したら、MENUボタンを押し、LCDパネルの表示を元の位置に戻します。

※AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH600以外の回転台を接続するときには、この設定を実施する必要はありません。カメラモデルを自動的に判別、もしくはコンバーチブルカメラ接続ができない回転台になります。

操作手順

■PAN/TILT最低起動速度の調整

回転台をジョイスティックでマニュアル操作するとき、PAN/TILTレバーの傾きに合わせて、回転台がスムーズに動き始めるように、回転台の最低起動速度の自動調整を行います。(PAN/TILTレバーのあそびを軽減します。)

1. MENUボタンを押し、ジョグダイヤル(メイン)を回してLCDパネルの上段にP/T SETTINGの項目を表示します。

P/T SETTING
→ OK Key

2. OKボタンを押します。LCDパネルに下記の項目が表示されます。

PAN DIRECTION
NORMAL

3. ジョグダイヤル(メイン)を回してLCDパネルの上段にPAN/TILT MIN SPD Setの項目を表示します。

PAN/TILT MIN SPD Set
ADJ Start Push OK Key

4. OKボタンを押すと、OKボタンが点滅し、自動的に右、上、左、下の順番で調整を行い、全て完了すると上記3.の状態に戻ります。

5. 調整途中で調整できなかった場合、LCDパネルの下段にPAN/TILT ADJ Errorが表示され、動作を停止します。

PAN/TILT MIN SPD Set
PAN/TILT ADJ Error

6. このときは、回転台へセッティングされているカメラのバランスを取り直し、OKボタンを押すと、上記3.の状態に戻り、再度自動調整を開始します。

PAN/TILT MIN SPD Set
ADJ Start Push OK Key

7. 調整終了後、MENUボタンを押してLCDの表示を元に戻します。

※メニューを本調整項目に合わせているときは、PAN/TILTレバーからの操作はできません。自動調整後は必ずメニューを他の項目に変更してください。

■バックラッシュ補正の調整

回転台を動かしたとき、ギアのあそびによりバックラッシュが発生する場合があります。これはバックラッシュを軽減するために補正を加える調整です。

(バックラッシュとは、回転台を右→左へ動かして停止させ、逆方向に動かし始めるとき、ギアのあそびにより起動が遅れる現象を言います。これは左→右、上→下、下→上でも同様です。)

1. MENUボタンを押し、ジョグダイヤル(メイン)を回してLCDパネルの上段にP/T SETTINGの項目を表示します。

P/T SETTING
→ OK Key

2. OKボタンを押します。LCDパネルに下記の項目が表示されます。

PAN DIRECTION
NORMAL

3. ジョグダイヤル(メイン)を回してLCDパネルの上段にBacklash Supplementの項目を表示します。

Backlash Supplement
A = OFF

4. ジョグダイヤル(L)で設定する項目を選択し、ジョグダイヤル(R)でデータを設定します。

項目	データ
A (PANに対する補正)	ON (補正を行う) / OFF (補正を行わない)
B (TILTに対する補正)	ON (補正を行う) / OFF (補正を行わない)
C (PANに対する補正量)	1 (最も少ない) ~ 7 (最も多い)
D (TILTに対する補正量)	1 (最も少ない) ~ 7 (最も多い)

※バックラッシュが気にならない場合は、OFFでご使用ください。また、調整する場合は必ず回転台を動かして、補正量が適正かどうかを実動作でご確認の上、補正量を決定してください。補正量が多すぎる場合、回転台を停止させたとき逆方向に戻る動作をします。

操作手順

■レンズのズーム最低起動速度の調整

ZOOMレバーでレンズのズーム操作をするとき、ZOOMレバーの傾きに合わせてレンズのズームがスムーズに動き出すように調整します。

1. MENUボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルの上段にP/T SETTINGの項目を表示します。

P/T SETTING
→ OK Key

2. OKボタンを押します。LCDパネルに下記の項目が表示されます。

PAN DIRECTION
NORMAL

3. ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルの上段にZoom Minimum SPD ADJの項目を表示します。

Zoom Minimum SPD ADJ
0

4. ZOOMレバーをゆっくり動かし、レンズのズームがスムーズに動き始めるかをモニター上で映像を見ながら確認します。
5. レンズのズームの動き始めがスムーズでない場合、ジョグダイヤル（R）を回して、動作がスムーズになるように調整します。

■回転台の可動範囲（リミッター）の設定

回転台システムの設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり、回転台システムが接触する場合があります。回転台システムが障害物に接触していると、故障や事故の原因になります。

使用する前には、必ず、回転台システムの可動範囲（リミッター：回転の上限、下限、左端、右端）の設定を行ってください。

回転台を据え置きタイプで設置する場合、あらかじめ回転台内部の設置方向スイッチを据え置き設置に切り換えてください。（出荷時の設定は、吊り下げ設置に設定されています。）

この切り換えが行われないと、回転台の動作方向が逆転し、回転台の可動範囲の制限（リミッター）が正常にメモリーできません。切り換え方法等の詳細は、回転台の取扱説明書を参照してください。

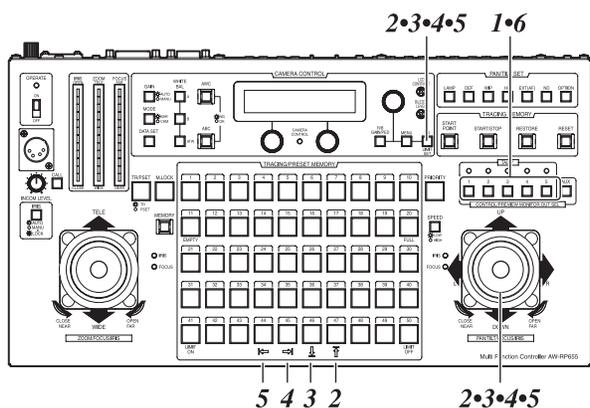
1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
2. 可動範囲の上限位置を設定します。
 - ① PAN/TILTレバーを操作し、上限位置としたい位置までカメラを回転します。
 - ② OKボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORYボタンの47↑を押します。
 - ③ ボタン41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再びOKボタンを押しながら、ボタン47↑を押します。設定が解除されるとボタン50 [LIMIT OFF] が点灯します。
3. 可動範囲の下限位置を設定します。
 - ① PAN/TILTレバーを操作し、下限位置としたい位置までカメラを回転します。
 - ② OKボタンを押したまま、ボタン46↓を押します。
 - ③ ボタン41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再びOKボタンを押しながら、ボタン46↓を押します。設定が解除されるとボタン50 [LIMIT OFF] が点灯します。

操作手順

4. 可動範囲の左端位置を設定します。
 - ① PAN/TILTレバーを操作し、左端位置としたい位置までカメラを回転します。
 - ② OKボタンを押したまま、ボタン44←を押します。
 - ③ ボタン41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再びOKボタンを押しながら、ボタン44←を押します。設定が解除されるとボタン50 [LIMIT OFF] が点灯します。
5. 可動範囲の右端位置を設定します。
 - ① PAN/TILTレバーを操作し、右端位置としたい位置までカメラを回転します。
 - ② OKボタンを押したまま、ボタン45→を押します。
 - ③ ボタン41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再びOKボタンを押しながら、ボタン45→を押します。設定が解除されるとボタン50 [LIMIT OFF] が点灯します。
6. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台の可動範囲 (リミッター) を設定します。

■ゲンロック調整

カメラを外部信号に同期させて使用する場合、他の機器やカメラのゲンロック調整を行う必要があります。外部同期信号には、ブラックバースト信号やVBS (Video Burst and Sync Signal) を使用します。カメラを外部信号に同期させない場合、ゲンロック調整は必要ありません。ゲンロック調整については、カメラやケーブル補償器の取扱説明書もあわせてご確認ください。



操作手順

水平位相調整

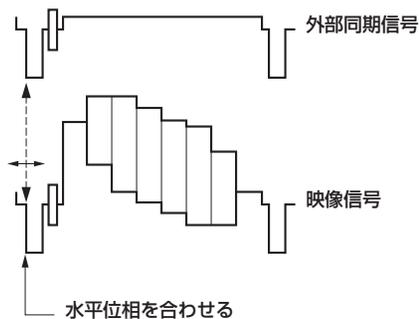
1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
2. 外部同期信号と現在選択されている回転台システムからの映像信号（ケーブル補償器をご使用の場合は、対応するY/VIDEO OUT端子）を、2現象オシロスコープに接続します。
3. MENUボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルの上段にG/L SETTINGの項目が表示するようにします。

G/L SETTING
→ OK Key

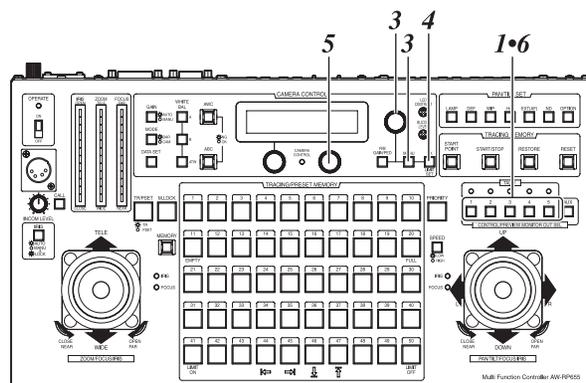
4. OKボタンを押します。
LCDパネルに下記の項目が表示されます。

H PHASE
±0

5. ジョグダイヤル（R）でオシロスコープの映像信号波形と外部同期信号波形の水平位相を合わせます。



6. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムで水平位相調整を行います。



操作手順

サブキャリア位相調整

映像入力信号にコンポジット信号を設定したときに、ビデオスイッチャー等で映像を切り換える場合、サブキャリア位相調整が必要です。

コンポーネント信号を設定した場合は、調整の必要がありません。

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムに対応する映像信号（ケーブル補償器をご使用の場合は、Y/VIDEO OUT端子）にビデオスイッチャー等を接続し、ビデオスイッチャー等の映像出力端子にカラーモニターを接続します。
- MODEボタンを押してBARモードにし、コンバーチブルカメラからの出力信号をカラーバー信号に切り換えます。
- MENUボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルの上段にG/L SETTINGの項目が表示するようにします。

G/L SETTING
→ OK Key

- OKボタンを押します。
LCDパネルに下記の項目が表示されます。

H PHASE
±0

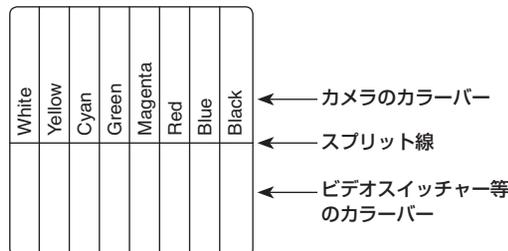
- ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルに下記の項目が表示するようにします。

SC PHASE
COARSE: 1 FINE: ±0

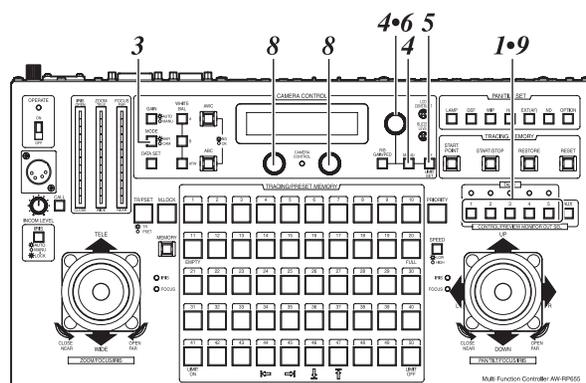
- 基準とするカラーバー信号（ビデオスイッチャー等が内蔵している信号）と、カメラからのカラーバー信号の両方をカラーモニターに出力します。

- 基準とするカラーバー信号にカメラからのカラーバー信号の位相を合わせます。

ジョグダイヤル（L）で90度単位の調整を行い、ジョグダイヤル（R）で微調整を行います。



- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでサブキャリア位相調整を行います。



操作手順

■トータルペDESTALの調整

複数台のカメラを使用する場合、各カメラが撮影する映像の黒レベル（ペDESTALレベル）を合わせる必要があります。

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
2. 現在選択されている回転台システムに対応する映像信号（ケーブル補償器をご使用の場合は、Y/VIDEO OUT端子）にウェーブフォームモニターを接続します。
3. IRISボタンを押してMANUモード（IRISボタンが消灯）にし、FOCUS/IRISダイヤルでレンズアイリスを絞り込みます。
4. R/B GAIN/PEDボタンを押し、LCDパネルに下記の項目が表示するようにします。

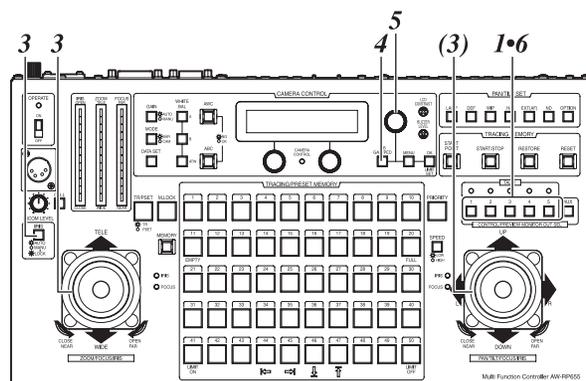
PEDESTAL TOTAL ±0
R: ±0 B: ±0

5. ジョグダイヤル（メイン）で黒レベルが5 IRE (0.035 V) または、7.5 IRE (0.050 V) になるように調整します。

黒レベルの調整は、使用する機器に合わせてください。



6. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムで黒レベルの調整を行います。



操作手順

■ホワイトバランスの調整

初めて使うときや長時間使わなかったとき、また、照明条件や明るさが変わったときにホワイトバランスの調整が必要です。

AchとBchの2か所に、ホワイトバランスの条件をあらかじめ登録しておくことができます。

設定内容と同じ条件下で使用する場合、一度調整しておくことでWHITE BALのAボタンやBボタンを押すだけで設定されますので、改めて調整する必要はありません。

新たに調整すると以前の登録内容は消去され、新しく設定された条件になります。

ホワイトバランスの自動調整

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。

2. 現在選択されている回転台システムで、白い被写体（白壁や白いハンカチなど）を画面一杯に映します。

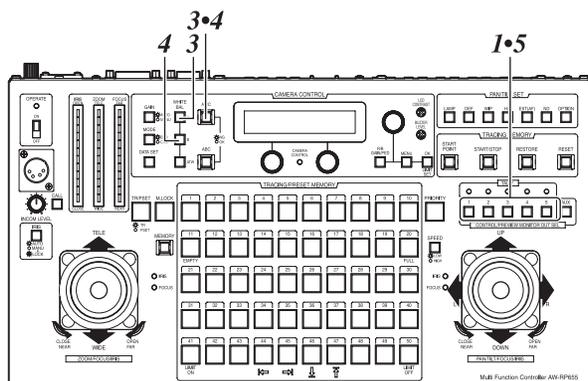
画面に光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。

3. WHITE BALのAボタンを押してAWCボタンを押します。AWCボタンが点滅し、ホワイトバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯し、Achに設定条件を登録します。調整ができなかった場合は、AWCボタンが点灯し続けます。明るさ、絞り、被写体、光源等を変えて調整し直してください。

AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

4. 同様にWHITE BALのBボタンで、Bchの設定条件を登録します。

5. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでホワイトバランスの調整を行います。



ホワイトバランスのマニュアル調整

1. 自動調整と同様にCONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択し、白い被写体を画面一杯に映します。

2. 現在選択されている回転台システムに対応する本機のVIDEO/Y OUT端子にウェブフォームモニターやカラーモニターを接続します。

3. WHITE BALのAボタンを押してAchのメモリーを選択します。

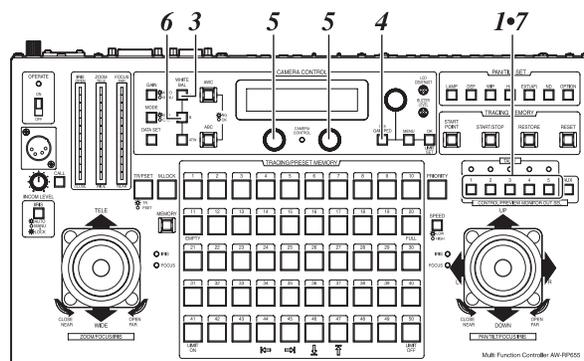
4. R/B GAIN/PEDボタンを押し、LCDパネルに下記の項目が表示するようにします。

GAIN	0dB
R: ±0	B: ±0

5. ジョグダイヤル(L)でRch(赤)のゲインを調整し、ジョグダイヤル(R)でBch(青)のゲインを調整します。

6. 同様にWHITE BALのBボタンで、Bchの設定条件をメモリーします。

7. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでホワイトバランスの調整を行います。



自動色温度追尾 (ATW)

撮影時にWHITE BALのATWボタンを押すと、ATWボタンが点灯し、光源や、色温度が変わってもホワイトバランスを合わせるように自動補正して、違和感の少ない映像になります。

画面以上に白がない場合、ホワイトバランスが適切に補正できないことがあります。また、光源や色温度により、ホワイトバランスが適切に補正できないことがあります。

操作手順

■ブラックバランスの調整

初めて使うときや長時間使わなかったとき、また、周囲温度が大幅に変わったときや季節の変わり目などにブラックバランスの調整が必要です。

設定内容と同じ条件下で使用する場合、改めて調整する必要はありません。

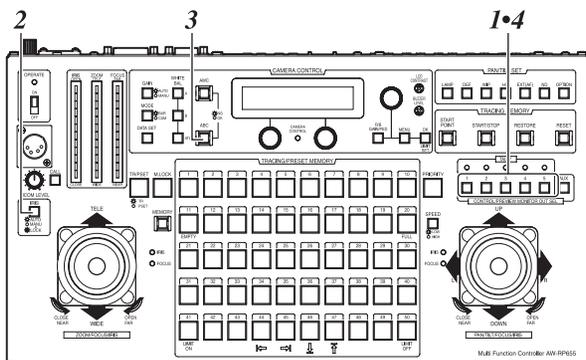
新たに調整すると以前のメモリー内容は消去され、新しく設定された条件になります。

ブラックバランスの自動調整

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
- IRISボタンを押し、現在選択されている回転台システムをAUTOモード (IRISボタンが点灯) にします。
- ABCボタンを押します。
ABCボタンが点滅し、レンズアイリスを自動的に絞込んでブラックバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯し、設定条件をメモリーします。調整ができなかった場合は、ABCボタンが点灯し続けます。再度、調整してください。

- トータルペDESTALが低すぎるときは、調整できないことがあります。トータルペDESTALを調整し直して、再度ブラックバランスの調整を行ってください。
- AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでブラックバランスの調整を行います。

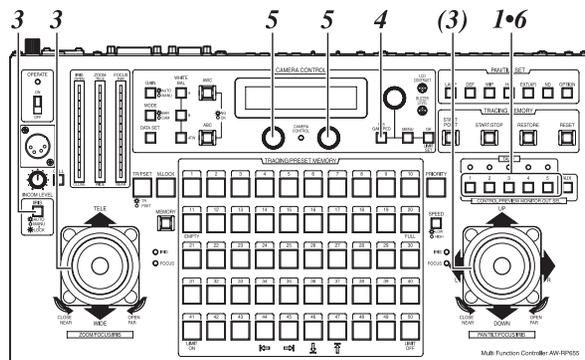


ブラックバランスのマニュアル調整

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムに対応する本機のVIDEO/Y OUT端子にウェーブフォームモニターやカラーモニターを接続します。
- IRISボタンを押してMANUモード (IRISボタンが消灯) にし、FOCUS/IRISダイヤルでレンズアイリスを絞り込みます。
- R/B GAIN/PEDボタンを押し、LCDパネルに下記の項目が表示するようにします。

PEDESTAL	TOTAL	±0
R:	±0	B: ±0

- ジョグダイヤル (L) でRch (赤) のペDESTALを調整し、ジョグダイヤル (R) でBch (青) のペDESTALを調整します。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでブラックバランスの調整を行います。



操作手順

■トレーシングメモリーの設定

本機には、回転台システムが動作する軌跡を登録する、トレーシングメモリー機能があります。

トレーシングメモリーは、TRACING/PRESET MEMORY ボタンの1～10に登録します。

記録時間とメモリー数の設定

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。

2. MENUボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルの上段にCONTROLLER SETTINGの項目が表示するようにします。

CONTROLLER SETTING
→ OK Key

3. OKボタンを押します。
LCDパネルに下記の項目が表示されます。

BUZZER SET
ON

4. ジョグダイヤル（メイン）を回してLCDパネルに下記の項目が表示するようにします。

MEMORY LENGTH SELECT
30s

5. トレーシングメモリーの記録時間とメモリー数をジョグダイヤル（R）で設定します。

- 30s : 30秒 × 10メモリー（ボタン1～10）
- 60s : 60秒 × 5メモリー（ボタン1～5）
- 150s : 150秒 × 2メモリー（ボタン1、2）
- 300s : 300秒 × 1メモリー（ボタン1）

MEMORY LENGTH SELECT
30s

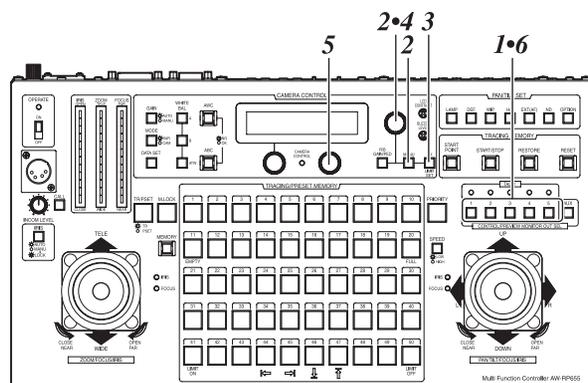
MEMORY LENGTH SELECT
60s

MEMORY LENGTH SELECT
150s

MEMORY LENGTH SELECT
300s

- トレーシングメモリーが既に登録されているときは、記録時間とメモリー数を設定することができません。
設定し直す場合は、登録済みのトレーシングメモリーを消去してから行ってください。
- 記録時間とメモリー数を設定すると、登録するボタンごとに設定を変えることができません。

6. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムで記録時間とメモリー数を設定します。



操作手順

トレーシングメモリーの登録

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
- 下記のボタンでモードを設定します。
 - IRISボタンを押し、MANUモード (IRISボタンが消灯) にします。
AUTOモードの場合、レンズアイリスのポジションが登録されません。
 - TR/PSETボタンを押し、トレーシングメモリーモード (TR/PSETボタンが点灯) にします。
 - M. LOCKボタンを押し、メモリー記録モード (M. LOCKボタンが消灯) にします。
- ZOOMレバーとPAN/TILTレバーを操作して、撮影する映像をモニターで確認します。
- ホワイトバランスをA/B/ATWの各ボタンから選択し、レンズアイリスをFOCUS/IRISダイヤルで調整します。
- START POINTボタンを押します。
TRACING/PRESET MEMORYボタン1～10の中で登録できるボタンが点灯します。

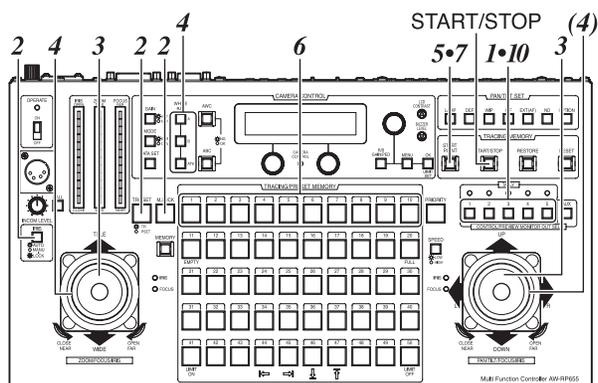
消灯しているボタンは、既に登録されているボタンです。消灯しているボタンに登録する場合、一度メモリーを消去してから登録してください。

- 登録するボタンを押します。
押したボタンだけが点灯し、トレーシングメモリーの開始位置として記録します。

この時点でPAN/TILTレバーを操作すると、登録モードをキャンセルします。

- START/STOPボタンを押します。
START/STOPボタンが点滅し、記録待機状態になります。

この時点でSTART/STOPボタンを押すと、登録モードをキャンセルします。



- パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、ホワイトバランスモード選択のいずれかを動かした時点で、トレーシングメモリーの記録を開始しますので、登録する操作を行ってください。
START/STOPボタンが点滅から点灯に変わり、メモリーできる時間の目安として、TRACING/PRESET MEMORYボタンの11～30が点灯します。
No.11から20のボタンひとつが、約3秒を表し、No.21から30のボタンひとつが約30秒を表します。
No.20のボタンから約3秒ごとに消灯していき、記録可能なメモリーの残り時間を表示します。
No.11のボタンが消灯した時点で、ブザーが鳴り、トレーシングメモリーの登録が終了します。

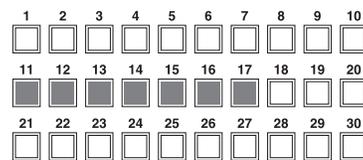
- トレーシングメモリーの記録を中断するときは、START/STOPボタンを押します。
中断した時点までの操作が、トレーシングメモリーとして登録されます。
- ブザーはトレーシングメモリーの記録開始、中断、登録時に鳴ります。

- 必要に応じて、他の操作をトレーシングメモリーとして、TRACING/PRESET MEMORYボタン1～10に登録します。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでトレーシングメモリーを設定します。

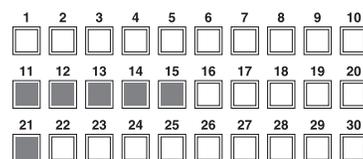
残り時間の表示例

■：ボタンの点灯を示します。

21秒：



45秒：



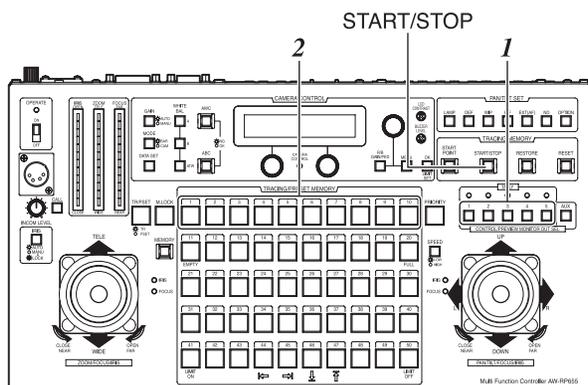
トレーシングメモリーを登録した場合、回転台のメモリーにも情報が書き込まれますので、回転台を取り替えた場合は、新たにトレーシングメモリーを登録し直してください。

操作手順

トレーシングメモリの再生

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
- 再生するトレーシングメモリーが登録されているボタンを押します。
回転台システムが、トレーシングメモリーに登録されている開始位置の状態になります。
- 回転台システムがトレーシングメモリー開始位置の状態になり停止してから、再度、トレーシングメモリーが登録されているボタンを押します。
回転台システムが、登録されているトレーシングメモリーの動作を開始します。

- 回転台にAW-PH350、AW-PH360、AW-PH650を使用した場合、開始位置の状態になる前にトレーシングメモリーが登録されているボタンを押しても動作を受け付けません。
AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650以外の回転台を使用した場合は、開始位置の状態になる前にトレーシングメモリーが登録されているボタンを押すと、ボタンが押された位置から再度メモリーされている軌跡の動作を行います。
必ず、開始位置の状態になり停止してから、トレーシングメモリーが登録されているボタンを押してください。
- トレーシングメモリーの再生を中断するときは、START/STOPボタンを押します。
また、パン、チルト、ズーム、フォーカスのいずれかを動かした時点でも再生を中断できます。
- ブザーはトレーシングメモリーの再生開始、中断、終了時に鳴ります。



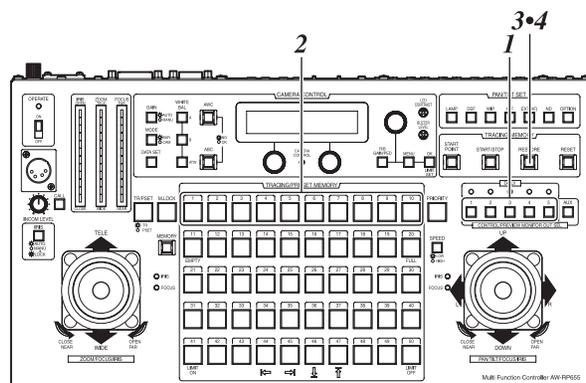
トレーシングメモリーの修正

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
- 修正するトレーシングメモリーが登録されているボタンを押し、トレーシングメモリーの開始位置を呼び出します。
- RESTOREボタンを押します。
RESTOREボタンが点滅し、トレーシングメモリーの開始位置の設定が修正できます。
- 再度RESTOREボタンを押します。
回転台システムが、登録されているトレーシングメモリーの動作を開始し、RESTOREボタンが点滅から点灯に変わります。
また、登録時と同様に11～30のボタンが、時間の目安として機能します。
- トレーシングメモリーの動作を修正します。

この時点でSTART/STOPボタンを押すと、修正モードをキャンセルします。

トレーシングメモリーの動作を部分的に修正することはできません。修正した時点から、最後まで登録し直してください。

- No.11のボタンが消灯した時点で、ブザーが鳴り、トレーシングメモリーの修正が終了します。



操作手順

トレーシングメモリの消去

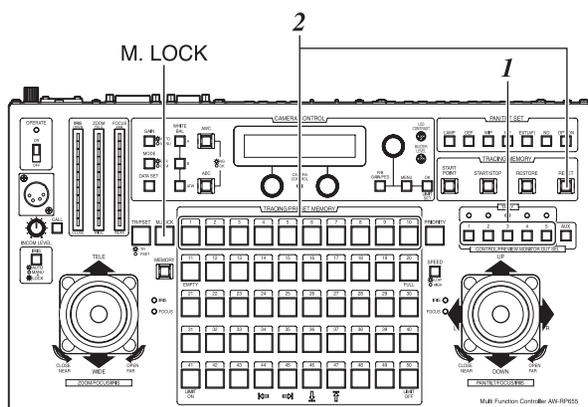
1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。

2. RESETボタンを押したまま、消去するトレーシングメモリが登録されているボタンを押します。

RESETボタンを押したときにトレーシングメモリが登録されているボタン (TRACING/PRESET MEMORYボタンの1 ~ 10) が点灯します。

3. ボタンが消灯し、トレーシングメモリが消去されます。

M. LOCKボタンが点灯しているときは、消去できません。



操作手順

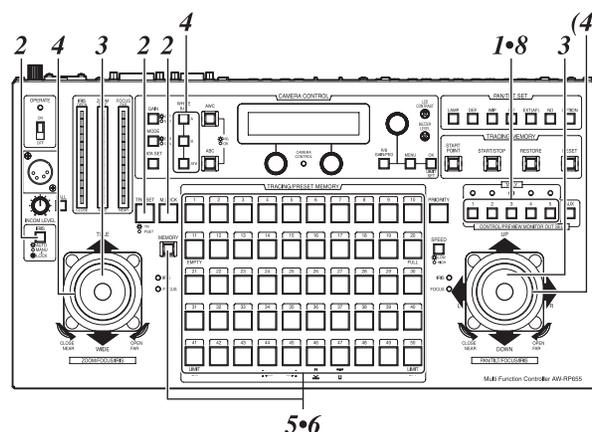
■プリセットメモリーの設定

本機には、回転台システムが撮影する位置と設定を登録する、プリセットメモリー機能があります。

プリセットメモリーは、TRACING/PRESET MEMORY ボタンの1～50に登録します。

プリセットメモリーの登録

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
 - 下記のボタンでモードを設定します。
 - IRISボタンを押し、MANUモード (IRISボタンが消灯) にします。
AUTOモードの場合、レンズアイリスのポジションが登録されません。
 - TR/PSETボタンを押し、プリセットメモリーモード (TR/PSETボタンが消灯) にします。
 - M. LOCKボタンを押し、メモリー記録モード (M. LOCKボタンが消灯) にします。
 - ZOOMレバーとPAN/TILTレバーを操作して、撮影する映像をモニターで確認します。
 - ホワイトバランスをA/B/ATWの各ボタンから選択し、レンズアイリスをFOCUS/IRISダイヤルで調整します。
 - MEMORYボタンを押したままの状態にします。
MEMORYボタンを押したときに、TRACING/PRESET MEMORYボタン1～50の中で、登録できるボタンが順次点滅を開始します。
- 消灯しているボタンは、既にトレーシングメモリーが登録されているボタンです。プリセットメモリーは登録できません。
- MEMORYボタンを押したままの状態、プリセットメモリーを登録するボタンを押します。
 - 必要に応じて、他の撮影位置と設定をプリセットメモリーとして、TRACING/PRESET MEMORYボタン1～50に登録します。
 - CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでプリセットメモリーを設定します。



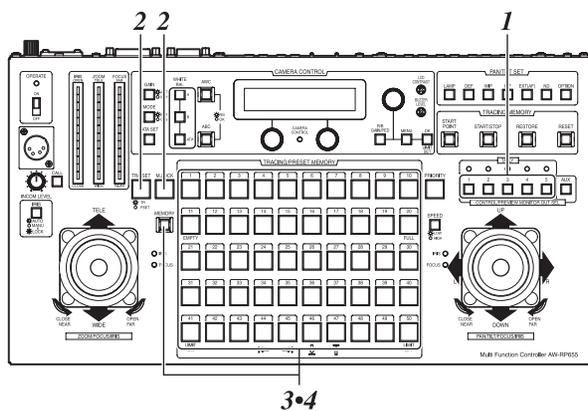
操作手順

プリセットメモリの消去

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SELボタンで回転台システムを選択します。
2. TR/PSETボタンを押し、プリセットメモリーモード (TR/PSETボタンが消灯) にします。
M. LOCKボタンを押し、メモリー記録モード (M. LOCKボタンが消灯) にします。
3. RESETボタンを押したままの状態にします。
RESETボタンを押したときに、TRACING/PRESET MEMORYボタン1～50の中で、消去できるボタンが順次点滅を開始します。

消灯しているボタンは、既にトレーシングメモリーが登録されているボタンです。プリセットメモリーは消去できません。

4. RESETボタンを押したままの状態、プリセットメモリーを消去するボタンを押します。
5. 必要に応じて、他のプリセットメモリーを消去します。



設定メニュー

G/L SETTING

- ▶ H PHASE
- ▶ SC PHASE

[± 0]
[COARSE: 1, FINE: ± 0]
COARSEの設定値は、ジョグダイヤルを押して、設定値が変化する速度を切り換えることができません。

CONTROLLER SETTING

- BUZZER SET
- EXT CONTROL OUT
- MEMORY LENGTH
- HEAD SW (R) FUNCTION
- VIRTUAL STUDIO MODE
- Camera Model Select

[ON]
[OFF]
[30s]
[OFF]
[OFF]
[CAM1=No Camera (CAM2 - CAM5=No Camera)]

P/T SETTING

- PAN DIRECTION
- TILT DIRECTION
- ZOOM DIRECTION
- FOCUS DIRECTION
- IRIS DIRECTION
- SPEED SELECT (PAN)
- SPEED SELECT (TILT)
- SPEED SELECT (ZOOM)
- SPEED SELECT (FOCUS)
- SPEED WITH ZOOM POS.
- DIAGONAL MOTION
- DIAGONAL SPEED
- PAN/TILT MIN SPD Set
- Backlash Supplement
- Zoom Minimum SPD ADJ

[NORMAL]
[NORMAL]
[NORMAL]
[NORMAL]
[NORMAL]
[HIGH: FAST, LOW: FAST]
[HIGH: FAST, LOW: FAST]
[HIGH: FAST, LOW: FAST]
[HIGH: FAST, LOW: FAST]
[OFF]
[OFF]
[30]
[PAN=OFF (TILT =OFF, PAN=1, TILT=1)]
[0]

- [] 内は、出荷時の設定です。
- ▶ マークが付いている項目は、ジョグダイヤルを押すごとに、設定値が変化する速度を切り換えることができる項目です。

設定メニュー (AW-E300/AW-E300A/AW-E600/AW-E800A)

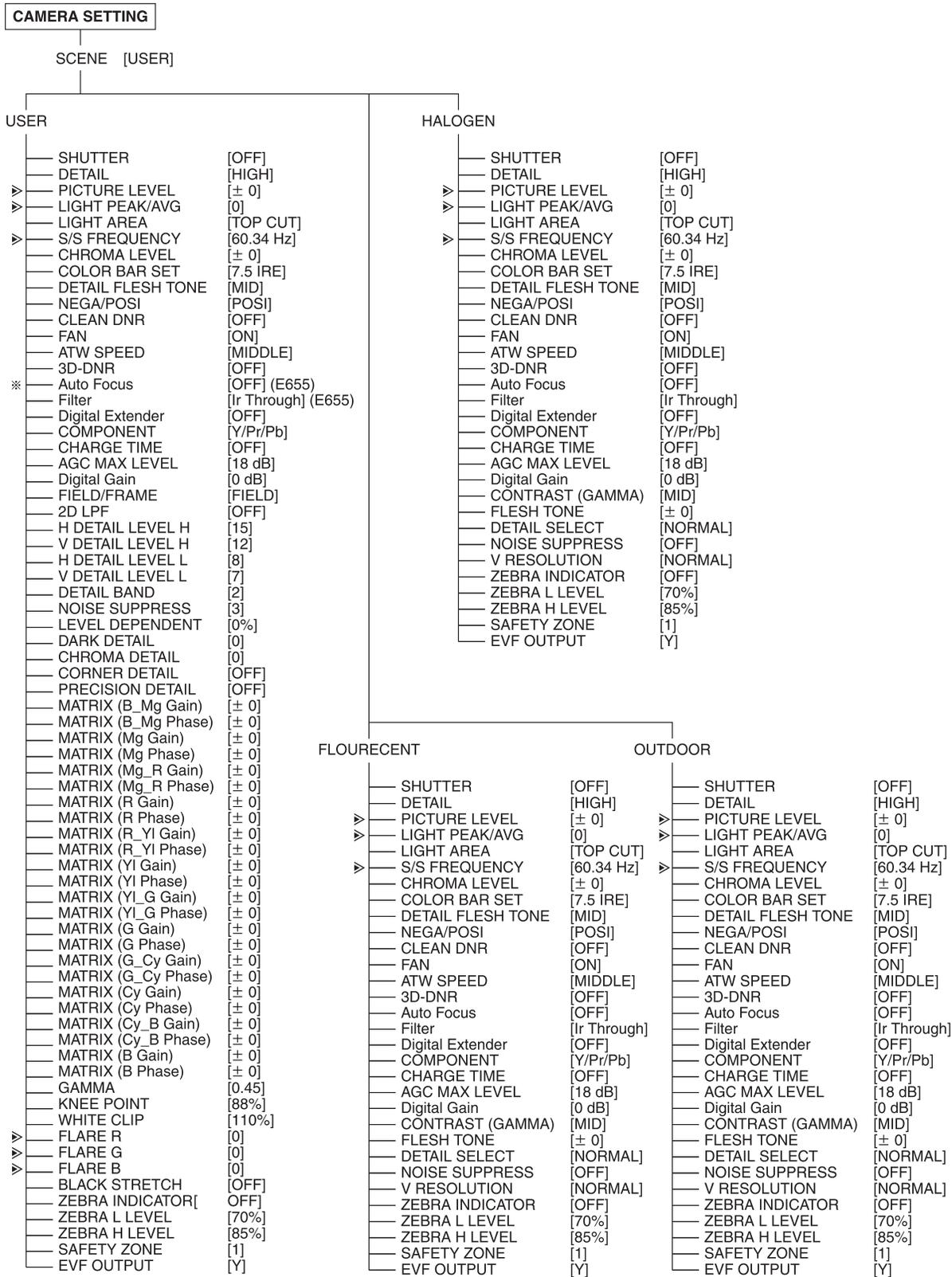
CAMERA SETTING

SCENE [USER]

USER	HALOGEN	FLOURECENT	OUTDOOR
— SHUTTER [OFF]	— SHUTTER [OFF]	— SHUTTER [OFF]	— SHUTTER [OFF]
— DETAIL [HIGH]	— DETAIL [HIGH]	— DETAIL [HIGH]	— DETAIL [HIGH]
▶ — PICTURE LEVEL [± 0]			
▶ — LIGHT PEAK/AVG [0]			
— LIGHT AREA [TOP CUT]			
▶ — S/S FREQUENCY [60.34 Hz]			
— CHROMA LEVEL [± 0]			
— HIGH LIGHT CHROMA [OFF]			
— COLOR BAR SET [7.5 IRE]			
— DETAIL FLESH TONE [MID]			
— NEGA/POSI [POSI]	— NEGA/POSI [POSI]	— NEGA/POSI [POSI]	— NEGA/POSI [POSI]
— CLEAN DNR [OFF]			
— ASPECT RATIO [16:9]			
— FAN [ON]	— FAN [ON]	— FAN [ON]	— FAN [ON]
— ATW SPEED [MIDDLE]			
— FIELD/FRAME [FIELD]	— CONTRAST (GAMMA) [MID]	— CONTRAST (GAMMA) [MID]	— CONTRAST (GAMMA) [MID]
— 2D LPF [OFF]	— FLESH TONE [± 0]	— FLESH TONE [± 0]	— FLESH TONE [± 0]
— H DETAIL LEVEL H [+24] ※	— DETAIL SELECT [NORMAL]	— DETAIL SELECT [NORMAL]	— DETAIL SELECT [NORMAL]
— V DETAIL LEVEL H [+7] ※	— NOISE SUPPRESS [OFF]	— NOISE SUPPRESS [OFF]	— NOISE SUPPRESS [OFF]
— H DETAIL LEVEL L [+12] ※	— V RESOLUTION [NORMAL]	— V RESOLUTION [NORMAL]	— V RESOLUTION [NORMAL]
— V DETAIL LEVEL L [+4] ※	— ZEBRA INDICATOR [OFF]	— ZEBRA INDICATOR [OFF]	— ZEBRA INDICATOR [OFF]
— DETAIL BAND [5] ※	— ZEBRA L LEVEL [70%]	— ZEBRA L LEVEL [70%]	— ZEBRA L LEVEL [70%]
— NOISE SUPPRESS [0]	— ZEBRA H LEVEL [85%]	— ZEBRA H LEVEL [85%]	— ZEBRA H LEVEL [85%]
— LEVEL DEPENDENT [0%]	— SAFETY ZONE [1]	— SAFETY ZONE [1]	— SAFETY ZONE [1]
— DARK DETAIL [0]	— EVF OUTPUT [Y]	— EVF OUTPUT [Y]	— EVF OUTPUT [Y]
— CHROMA DETAIL [0]	— COMPONENT [Y/Pr/Pb]	— COMPONENT [Y/Pr/Pb]	— COMPONENT [Y/Pr/Pb]
— CORNER DETAIL [OFF]	— CHARGE TIME [AUTO]	— CHARGE TIME [AUTO]	— CHARGE TIME [AUTO]
— PRECISION DETAIL [OFF]	— AGC MAX LEVEL [18 dB]	— AGC MAX LEVEL [18 dB]	— AGC MAX LEVEL [18 dB]
▶ — MATRIX (R-G) [± 0]			
▶ — MATRIX (R-B) [± 0]			
▶ — MATRIX (G-R) [± 0]			
▶ — MATRIX (G-B) [± 0]			
▶ — MATRIX (B-R) [± 0]			
▶ — MATRIX (B-G) [± 0]			
— GAMMA [0.45]			
— KNEE POINT [88%]			
— WHITE CLIP [110%]			
▶ — FLARE R [0]			
▶ — FLARE G [0]			
▶ — FLARE B [0]			
— BLACK STRETCH [OFF]			
— ZEBRA INDICATOR [OFF]			
— ZEBRA L LEVEL [70%]			
— ZEBRA H LEVEL [85%]			
— SAFETY ZONE [1]			
— EVF OUTPUT [Y]			
— COMPONENT [Y/Pr/Pb]			
— CHARGE TIME [AUTO]			
— AGC MAX LEVEL [18 dB]			

- [] 内は、出荷時の設定です。
- [] の右に、※マークが付いている項目は、カメラとしてAW-E800Aを使用することを基準にした設定値です。他のカメラを使用する場合は、使用するカメラの初期値に変更してください。
- ▶ マークが付いている項目は、ジョグダイヤルを押すごとに、設定値が変化する速度を切り換えることができる項目です。

設定メニュー (AW-E350/AW-E650/AW-E655/AW-E750)



- [] 内は、出荷時の設定です。
- ▶ マークが付いている項目は、ジョグダイヤルを押すごとに、設定値が変化する速度を切り換えることができます。
※回転台AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650を接続しAF機能付きレンズ (AW-LZ16AF7G) をご使用の場合は、このメニューからではON/OFFできません。本機のEXT (AF) ボタン (P.11参照) でON/OFFしてください。

設定メニュー (AW-E860)

CAMERA SETTING

SCENE [USER]

USER	HALOGEN	FLOURECENT	OUTDOOR
— SHUTTER [OFF]	— SHUTTER [OFF]	— SHUTTER [OFF]	— SHUTTER [ELC]
— DETAIL [HIGH]	— DETAIL [HIGH]	— DETAIL [HIGH]	— DETAIL [HIGH]
▶ — PICTURE LEVEL [± 0]	▶ — PICTURE LEVEL [± 0]	▶ — PICTURE LEVEL [± 0]	▶ — PICTURE LEVEL [± 0]
▶ — LIGHT PEAK/AVG [0]	▶ — LIGHT PEAK/AVG [0]	▶ — LIGHT PEAK/AVG [0]	▶ — LIGHT PEAK/AVG [0]
▶ — LIGHT AREA [TOP CUT]	▶ — LIGHT AREA [TOP CUT]	▶ — LIGHT AREA [TOP CUT]	▶ — LIGHT AREA [TOP CUT]
— S/S FREQUENCY [1.75 kHz]	▶ — S/S FREQUENCY [60.34 Hz]	— S/S FREQUENCY [60.34 Hz]	▶ — S/S FREQUENCY [60.34 Hz]
— CHROMA LEVEL [± 2]	— CHROMA LEVEL [± 0]	— CHROMA LEVEL [± 0]	— CHROMA LEVEL [± 0]
— COLOR BAR SET [7.5 IRE]	— COLOR BAR SET [7.5 IRE]	— COLOR BAR SET [7.5 IRE]	— COLOR BAR SET [7.5 IRE]
— COLOR BAR SET2 [0.0 IRE]	— COLOR BAR SET2 [0.0 IRE]	— COLOR BAR SET2 [0.0 IRE]	— COLOR BAR SET2 [0.0 IRE]
— DETAIL FLESH TONE [OFF]	— DETAIL FLESH TONE [LOW]	— DETAIL FLESH TONE [LOW]	— DETAIL FLESH TONE [LOW]
— CLEAN DNR [OFF]	— CLEAN DNR [OFF]	— CLEAN DNR [OFF]	— CLEAN DNR [OFF]
— ASPECT RATIO [16:9]	— ASPECT RATIO [16:9]	— ASPECT RATIO [16:9]	— ASPECT RATIO [16:9]
— FAN [AUTO]	— FAN [AUTO]	— FAN [AUTO]	— FAN [AUTO]
— ATW SPEED [MIDDLE]	— ATW SPEED [MIDDLE]	— ATW SPEED [MIDDLE]	— ATW SPEED [MIDDLE]
— COMPONENT [Y/Pr/Pb]	— COMPONENT [Y/Pr/Pb]	— COMPONENT [Y/Pr/Pb]	— COMPONENT [Y/Pr/Pb]
— AGC MAX LEVEL [18 dB]	— AGC MAX LEVEL [18 dB]	— AGC MAX LEVEL [18 dB]	— AGC MAX LEVEL [N/E H]
— FIELD/FRAME [FIELD]	— CONTRAST (GAMMA) [MID]	— CONTRAST (GAMMA) [MID]	— CONTRAST (GAMMA) [MID]
— H DETAIL LEVEL H [20]	— FLESH TONE [± 0]	— FLESH TONE [± 0]	— FLESH TONE [± 0]
— V DETAIL LEVEL H [19]	— DETAIL SELECT [SHARPNESS]	— DETAIL SELECT [SHARPNESS]	— DETAIL SELECT [SHARPNESS]
— H DETAIL LEVEL L [13]	— NOISE SUPPRESS [OFF]	— NOISE SUPPRESS [OFF]	— NOISE SUPPRESS [OFF]
— V DETAIL LEVEL L [8]	— V RESOLUTION [NORMAL]	— V RESOLUTION [NORMAL]	— V RESOLUTION [NORMAL]
— DETAIL BAND [5]	— ZEBRA INDICATOR [OFF]	— ZEBRA INDICATOR [OFF]	— ZEBRA INDICATOR [OFF]
— NOISE SUPPRESS [3]	— ZEBRA L LEVEL [70%]	— ZEBRA L LEVEL [70%]	— ZEBRA L LEVEL [70%]
— LEVEL DEPENDENT [0%]	— ZEBRA H LEVEL [85%]	— ZEBRA H LEVEL [85%]	— ZEBRA H LEVEL [85%]
— DARK DETAIL [0]	— SAFETY ZONE [1]	— SAFETY ZONE [1]	— SAFETY ZONE [1]
— CHROMA DETAIL [0]	— EVF OUTPUT [Y]	— EVF OUTPUT [Y]	— EVF OUTPUT [Y]
— PRECISION DETAIL [OFF]			
— MATRIX (B_Mg Gain) [± 0]			
— MATRIX (B_Mg Phase) [± 0]			
— MATRIX (Mg Gain) [± 0]			
— MATRIX (Mg Phase) [± 0]			
— MATRIX (Mg_R Gain) [± 0]			
— MATRIX (Mg_R Phase) [± 0]			
— MATRIX (R Gain) [± 0]			
— MATRIX (R Phase) [± 0]			
— MATRIX (R_YI Gain) [± 0]			
— MATRIX (R_YI Phase) [± 0]			
— MATRIX (YI Gain) [± 0]			
— MATRIX (YI Phase) [± 0]			
— MATRIX (YI_G Gain) [± 0]			
— MATRIX (YI_G Phase) [± 0]			
— MATRIX (G Gain) [± 0]			
— MATRIX (G Phase) [± 0]			
— MATRIX (G_Cy Gain) [± 0]			
— MATRIX (G_Cy Phase) [± 0]			
— MATRIX (Cy Gain) [± 0]			
— MATRIX (Cy Phase) [± 0]			
— MATRIX (Cy_B Gain) [± 0]			
— MATRIX (Cy_B Phase) [± 0]			
— MATRIX (B Gain) [± 0]			
— MATRIX (B Phase) [± 0]			
— GAMMA [0.45]			
— KNEE POINT [88%]			
— WHITE CLIP [110%]			
▶ — FLARE R [0]			
▶ — FLARE G [0]			
▶ — FLARE B [0]			
— BLACK STRETCH [OFF]			
— ZEBRA INDICATOR [OFF]			
— ZEBRA L LEVEL [70%]			
— ZEBRA H LEVEL [85%]			
— SAFETY ZONE [1]			
— EVF OUTPUT [Y]			

- [] 内は、出荷時の設定です。
- ▶ マークが付いている項目は、ジョグダイヤルを押すごとに、設定値が変化する速度を切り換えることができる項目です。
※回転台AW-PH350、AW-PH360、AW-PH650を接続しAF機能付きレンズ (AW-LZ16AF7G) をご使用の場合は、このメニューからではON/OFFできません。本機のEXT (AF) ボタン (P.11参照) でON/OFFしてください。

設定メニュー

G/L SETTING (ゲンロック調整)メニュー

H PHASE (- 206 ~ + 49)

ゲンロック時の水平位相を調整します。

SC PHASE (1、2、3、4、- 511 ~ + 511)

ゲンロック時の色位相を調整します。

CONTROLLER SETTING (コントローラー設定)メニュー

BUZZER SET (ON/OFF)

本機に内蔵されているブザーのON/OFFを設定します。

OFFに設定するとブザーが鳴りません。

ブザーはCALLボタンを押したときや、トレーシングメモリー操作 (記録・再生・修正) の開始・中断・登録を行うときに鳴ります。

EXT CONTROL OUT (ON/OFF)

公衆回線接続BOXを接続する場合に、ONに設定します。

通常はOFFの設定で使用してください。

MEMORY LENGTH (30s、60s、150s、300s)

トレーシングメモリーの記録時間とメモリー数を設定します。

30s : 30秒 × 10メモリー

60s : 60秒 × 5メモリー

150s : 150秒 × 2メモリー

300s : 300秒 × 1メモリー

トレーシングメモリーが既に登録されているときは、記録時間とメモリー数を設定することができません。設定し直す場合は、登録済みのトレーシングメモリーを消去してから行ってください。

HEAD SW (R) FUNCTION (ON/OFF)

ONに設定すると、PAN/TILTレバーの天面にあるボタンで行う、調整ダイヤルの機能切り換え (IRISとFOCUS) ができなくなります。

現在はサポートされておりません。OFFの設定で使用してください。

VIRTUAL STUDIO MODE (ON/OFF)

ONに設定すると、バーチャルスタジオ (AV-VS500) のブルーバックを基準にした色に、カメラの映像信号出力を切り換えます。

設定メニュー

P/T SETTING (回転台設定) メニュー

PAN DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILTレバーの操作で行う、回転台システムの水平方向の動作を切り換えます。

NORMALに設定すると、PAN/TILTレバーをL側へ倒したときに回転台システムが左方向に動作し、R側へ倒したときに右方向に動作します。

REVERSEに設定すると、逆方向に動作します。

回転台にAW-PH300を据え置き設置で使用する場合、通常はREVERSEに設定してください。

REVERSEに設定すると、PAN/TILTレバーをL側へ倒したときに回転台システムが左方向に動作し、R側へ倒したときに右方向に動作します。

NORMALに設定すると、逆方向に動作します。

TILT DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILTレバーの操作で行う、回転台システムの垂直方向の動作を切り換えます。

NORMALに設定すると、PAN/TILTレバーをUP側へ倒したときに回転台システムが上方向に動作し、DOWN側へ倒したときに下方向に動作します。

REVERSEに設定すると、逆方向に動作します。

回転台にAW-PH300を吊り下げ設置で使用する場合、通常はREVERSEに設定してください。

REVERSEに設定すると、PAN/TILTレバーをUP側へ倒したときに回転台システムが上方向に動作し、DOWN側へ倒したときに下方向に動作します。

NORMALに設定すると、逆方向に動作します。

ZOOM DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

ZOOMレバーの操作で行う、レンズのズーム動作を切り換えます。

NORMALに設定すると、ZOOMレバーをTELE側へ倒したときにズーム動作が望遠側に動作し、WIDE側へ倒したときに広角側に動作します。

REVERSEに設定すると、逆方向に動作します。

FOCUS DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILTレバーとZOOMレバー上部のダイヤル操作で行う、レンズのフォーカス動作を切り換えます。

NORMALに設定すると、ダイヤルをFAR側へ回したときにフォーカス動作が遠距離側に動作し、NEAR側へ回したときに近距離側に動作します。

REVERSEに設定すると、逆方向に動作します。

IRIS DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILTレバーとZOOMレバー上部のダイヤル操作で行う、レンズの絞り動作を切り換えます。

NORMALに設定すると、ダイヤルをOPEN側へ回したときに絞りが解放し、CLOSE側へ回したときに閉じます。

REVERSEに設定すると、逆方向に動作します。

一部のレンズで、絞り動作が逆に動く場合がありますので、操作しやすい設定で使用してください。

SPEED SELECT (PAN)

(HIGH : SLOW/MID/FAST、LOW : SLOW/MID/FAST)

PAN/TILTレバーを操作して、回転台システムが水平方向に動作するスピードを切り換えます。

SPEEDボタンで切り換えるHIGHとLOWそれぞれのモードで、SLOW/MID/FASTに3段階で設定できます。

「SPEED WITH ZOOM POS.」を1または、2に設定すると、SLOW/MID/FASTの切り換えができません。

SPEED SELECT (TILT)

(HIGH : SLOW/MID/FAST、LOW : SLOW/MID/FAST)

PAN/TILTレバーを操作して、回転台システムが垂直方向に動作するスピードを切り換えます。

SPEEDボタンで切り換えるHIGHとLOWそれぞれのモードで、SLOW/MID/FASTに3段階で設定できます。

「SPEED WITH ZOOM POS.」を1または、2に設定すると、SLOW/MID/FASTの切り換えができません。

SPEED SELECT (ZOOM)

(HIGH : SLOW/MID/FAST、LOW : SLOW/MID/FAST)

ZOOMレバーを操作して、レンズがズーム動作を行うスピードを切り換えます。

SPEEDボタンで切り換えるHIGHとLOWそれぞれのモードで、SLOW/MID/FASTに3段階で設定できます。

SPEED SELECT (FOCUS)

(HIGH : SLOW/MID/FAST、LOW : SLOW/MID/FAST)

PAN/TILTレバーとZOOMレバー上部のダイヤル操作で行う、レンズがフォーカス動作を行うスピードを切り換えます。

SPEEDボタンで切り換えるHIGHとLOWそれぞれのモードで、SLOW/MID/FASTに3段階で設定できます。

設定メニュー

SPEED WITH ZOOM POS. (OFF、1、2)

1または、2に設定すると、レンズのズーム位置が広角のときに、回転台システムのパン／チルト動作を遅くし、パン／チルトの位置を合わせやすくします。

DIAGONAL MOTION (ON/OFF)

OFF：回転台システムが、最大速度でプリセットメモリー設定位置まで移動します。

ON：回転台システムの動作速度を調整し、プリセットメモリー設定位置まで移動する軌跡が直線になるようにします。

ただし、回転台AW-PH350のリピータビリティが±10' となり、静止精度が悪くなります。

DIAGONAL SPEED (1 ~ 30)

DIAGONAL MOTIONをONに設定したときの動作速度を設定します。設定値を大きくすると、動作速度が速くなります。

DIAGONAL MOTIONがOFFのときは、動作速度を設定できません。

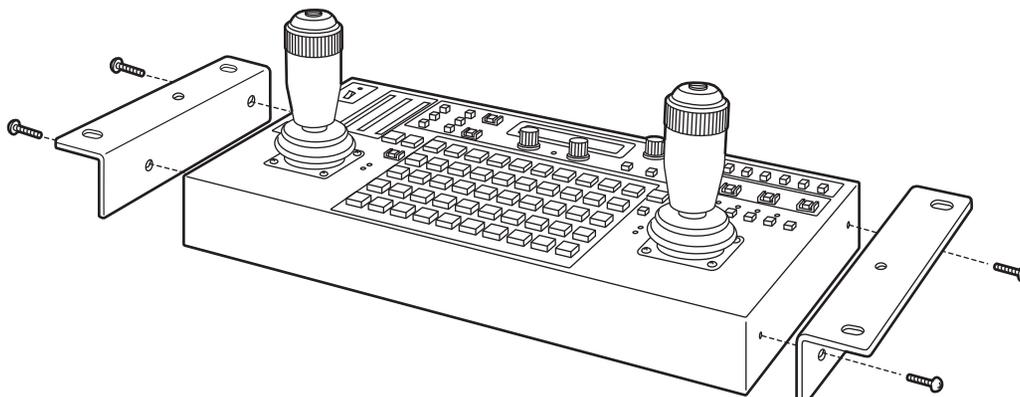
CAMERA SETTING (カメラ設定) メニュー

使用するカメラや回転台、また、装着するオプションカードにより、動作する項目が異なります。

詳細は、使用するカメラの取扱説明書をご参照ください。

ラックマウント金具の取り付け

- 本体をラックへ取り付けるときは、付属のラックマウント金具と取付ねじ（M4×8）を使用してください。
- 付属のねじ以外は使用しないでください。



消耗品の交換

● 電池の交換

電池の寿命は、約5年です。5年以内に定期的に交換してください。

本機には、メニュー設定やトレーシングメモリーなどの設定データが記憶されています。これらのデータは、電源を切っても保存されていますが、内蔵の電池が寿命となった場合、電源を切るとデータが失われます。パネルモードで動作させる場合は、電池を交換する必要はありません。

交換は、販売店に依頼してください。

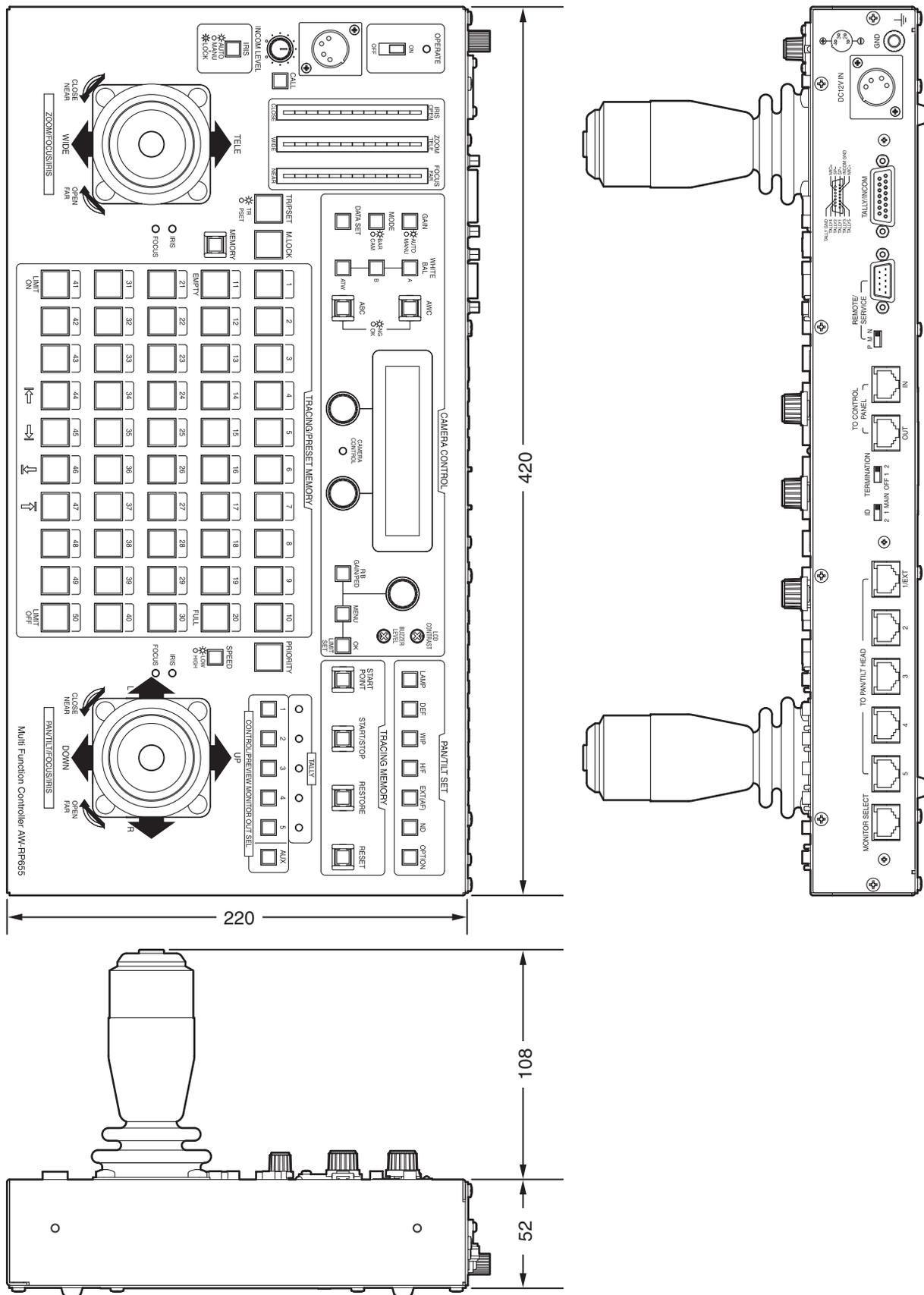
● ジョイスティックの交換

ジョイスティックは、消耗品です。動作に支障がある場合は、交換してください。

交換は、販売店に依頼してください。

外形寸法图

单位：mm



定 格

電源電圧：	DC 10.8 V ~ DC 16 V
消費電力：	9.0 W

 は安全項目です。

■総合

動作周囲温度

- 10 °C ~ + 50 °C

保存温度：

- 20 °C ~ + 60 °C

動作周囲湿度

30 ~ 90 % (結露無し)

重量

3.5 kg

外形寸法 (幅×高さ×奥行)

420×52×220 mm

仕上げ

AVアイボリー塗装 (マンセル7.9Y 6.8/0.8近似色)

対応回転台

AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH350、
AW-PH360、AW-PH500、AW-PH600、
AW-PH650

対応カメラ

AW-E300、AW-E300A、AW-E600、AW-E800A
AW-E350、AW-E650、AW-E655、AW-E750、
AW-E860、AK-HC1500G

■入力端子

DC 12 V IN

XLR、4ピン

GND

接地してご使用ください。

■出力端子

MONITOR SELECT

RJ45

接続ケーブル：

10BASE-Tストレートケーブル
(UTPカテゴリー 5)、最大50 m

■入出力端子

TO CONTROL PANEL [IN/OUT]

RJ45 (各1)

接続ケーブル：

10BASE-Tストレートケーブル
(UTPカテゴリー 5)、最大1000 m
(複数台のコントロールパネルを接続しているとき
は、それぞれのケーブル長さの合計を1000 mまで
にしてください。)

TALLY/INCOM

D-SUB 15-pin

REMOTE/SERVICE

RS-232C

TO PAN/TILT HEAD [1/EXT、2 ~ 5]

RJ45×5、回転台用制御信号出力

接続ケーブル：

10BASE-Tストレートケーブル
(UTPカテゴリー 5)、最大1000 m

INCOM

XLR、4ピン

■その他

TERMINATIONスイッチ

コントロールパネルとの通信ラインの終端設定

IDスイッチ

動作モード (MAIN、1、2) の設定

REMOTE/SERVICEスイッチ

メンテナンス用スイッチ、「N」位置に固定でご使用く
ださい。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お
買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読
みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このマルチファンクションコントローラーの
補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連
絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	マルチファンクションコントローラー
品番	AW-RP655N
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により
修理させていただきます。下記修理料金の仕組み
をご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成さ
れています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・
調整・修理完了時の点検などの作業に
かかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代
です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所
へ技術者を派遣する場合の費用です。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社 ビジネスソリューション事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161